

令和5年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

令和4年度 個性ある区づくり推進費

決算状況



令和5年9月5日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 令和4年度神奈川区個性ある区づくり推進費決算調書	1
2 令和4年度神奈川区自主企画事業等実績	2

令和4年度 神奈川区個性ある区づくり推進費 決算調書

1 区別総括表

(単位：円)

	当初予算額	現計予算額	決算額	差引
(1) 自主企画事業費	106,339,000	106,339,000	101,427,568	4,911,432
(2) 統合事務事業費	48,513,000	48,513,000	46,729,823	1,783,177
統合事務費	28,053,000	28,053,000	27,349,894	703,106
統合事業費	20,460,000	20,460,000	19,379,929	1,080,071
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	584,162,000	600,949,000	603,834,054	△ 2,885,054
合 計	739,014,000	755,801,000	751,991,445	3,809,555

≪区づくり推進費 執行率 99.5%≫

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 101,427,568円 (予算額 106,339,000円) 差引 4,911,432円

(単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差 引	主な増減理由
3つの施策					
I 安全・安心なまちづくり	33,466,000	33,466,000	31,222,028	2,243,972	地域防災拠点の資機材や備蓄庫の修繕件数減少等による減
II 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	26,746,000	26,746,000	21,773,760	4,972,240	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の縮小等による減
III 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり	35,133,000	35,133,000	31,938,067	3,194,933	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の縮小等による減
IV 信頼される区役所づくり	10,994,000	10,994,000	16,493,713	△ 5,499,713	窓口や庁舎の環境改善を実施したことによる増
合 計	106,339,000	106,339,000	101,427,568	4,911,432	(32事業)

(2) 統合事務事業費 46,729,823円 (予算額 48,513,000円) 差引 1,783,177円

(単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差 引	主な増減理由
統合事務費 ※1	28,053,000	28,053,000	27,349,894	703,106	購入物品等の精査による減
統合事業費 (8事業) ※2	20,460,000	20,460,000	19,379,929	1,080,071	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の縮小等による減
合 計	48,513,000	48,513,000	46,729,823	1,783,177	

※1…生活保護や戸籍・住民登録に係る事務費 ※2…18区共通で実施している事業で局から統合された事業費

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 603,834,054円 (予算額 600,949,000円) 差引 △2,885,054円

(単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差 引	主な増減理由
1 区庁舎等	78,901,000	95,393,000	97,867,648	△ 2,474,648	委託契約実績の増
2 土木事務所	8,535,000	8,830,000	9,105,232	△ 275,232	委託契約実績の増
3 公会堂	35,499,000	35,499,000	35,499,000	0	
4 地区センター等	196,728,000	196,728,000	196,752,750	△ 24,750	室内化学物質濃度測定委託の実施による増
5 ログハウス	8,201,000	8,201,000	8,201,000	0	
6 区民文化センター	115,371,000	115,371,000	115,371,000	0	
7 老人福祉センター	25,446,000	25,446,000	25,446,000	0	
8 コミュニティハウス	54,252,000	54,252,000	54,252,000	0	
9 スポーツセンター	51,484,000	51,484,000	51,484,000	0	
10 広場・遊び場	1,346,000	1,346,000	1,838,363	△ 492,363	樹木剪定伐採及び遊具撤去等の実施による増
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	8,399,000	8,399,000	8,017,061	381,939	修繕箇所減少等による減
合 計	584,162,000	600,949,000	603,834,054	△ 2,885,054	

～令和4年度 神奈川区自主企画事業等実績～

I 安全・安心なまちづくり 31,222,028円（予算額33,466,000円）

- | | |
|--------------|----|
| 1 地域防災力向上事業 | 重点 |
| 2 神奈川区防犯対策事業 | 重点 |
| 3 放置自転車対策事業 | |
| 4 交通安全対策事業 | |

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）
- ② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ⑤ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）
- ⑥ 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）
- ⑦ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）
- ⑧ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑨ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ⑩ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑪ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑫ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑬ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

1 地域防災力向上事業 21,847,197円（予算額23,428,000円） ☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進するとともに、防災への関心を高めるため、次世代・多世代に対する啓発を進めました。また、地域、医療機関等と連携して地域防災力の向上を図りました。

(1) 地域防災力の強化

ア 自助の推進

(ア) 窓ガラス飛散防止普及啓発事業

大地震、風水害時に窓ガラスの破損による負傷を防ぎ、自宅で避難生活を送ることができるよう、日本ガラスフィルム工事業協会と連携し、ガラスの飛散防止フィルム設置を促進（29件）

(イ) 乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう、家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布（耐震ジェルマット2,000個作成、配布）

(ウ) 防災アドバイザー派遣事業（13件）

(エ) 「自分で作るmy防災マップ」配布等



窓ガラス飛散防止フィルム施工作業

イ 共助の推進

(ア) 「共助の取組」支援セミナー（7月29日、30日）

自治会・町内会等の防災担当者を対象に、防災の専門家を招いたセミナーを実施

(イ) 地域防災拠点の機能強化

運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改訂支援、地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）

(ウ) 共助推進事業（43件）

町の防災組織が実施する防災活動や防災資機材購入にかかる費用を補助



運営委員向け防災講座

ウ 次世代への防災教育

中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援

エ 多世代の防災意識向上

区PTA連絡協議会と協力し、子育て世代向け防災ガイドを活用した防災意識向上の取組などを実施

オ 神奈川区内鉄道事業者等による災害対策検討会議

（7月27日）

カ 新子安・子安通1丁目・入江地区及び神奈川区臨海部防災協議会

（10月12日書面開催）



中学生向け防災ガイド

(2) 区役所災害対応力の強化

ア 職員向け訓練・研修

- (ア) 転入職員向け研修、即応班研修（4月12日、15日、19日）
- (イ) 風水害避難場所運営訓練（7月26日）
- (ウ) 地域防災拠点参加等研修（7月1日、5日）
- (エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8月25日）
- (オ) 庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9月30日）
- (カ) 区本部各班訓練

イ 区本部運営に必要な物資の整備

(3) 医療初動体制の整備

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

神奈川区災害医療連絡会議（10月、12月）

イ 災害医療の訓練や区民啓発

- (ア) 区災害医療訓練（11月）
- (イ) 医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練（年4回）
- (ウ) 地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発の実施（通年）
- (エ) 災害医療のぼり旗掲出訓練の実施（9月）
- (オ) 他区との通信訓練（鶴見区と合同開催）（中止）
- (カ) Yナース募集広報区版（8月）

(4) 災害時要援護者支援事業《令和5年3月末 名簿提供団体：109団体》

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図りました。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援しました。

ア 新規協定締結の促進

- (ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結
- (イ) 災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（8月）

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成

(5) 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）の運営体制の強化を図るべく、避難所協定締結施設を対象とした連絡会・研修会を開催しました。

ア 福祉避難所運営体制の整備

《令和5年3月末現在 福祉避難所協定締結数：21施設》

- (ア) 福祉避難所協定締結施設向け連絡会（9月6日、11月22日、2月27日）
- (イ) 福祉避難所協定締結施設向け研修会（11月22日）
- (ウ) 福祉避難所開設・運営訓練（神奈川区災害医療訓練）（11月27日）
- (エ) 福祉避難所情報共有システムを活用した開設情報等受伝達訓練（11月27日、3月16日）
- (オ) 福祉避難所の備蓄品等の整備（エアベッド・充電式エアコンプレッサ1月25日完了、ラントン・充電器3月3日完了）
- (カ) 居宅介護支援事業者等連絡会での緊急入所説明（12月）

(6) 災害時のペット対策

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

- (ア) 地域防災拠点運営委員会総会（5月20日開催）及び運営委員会向け研修（基礎編：6月24日、25日開催）にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- (イ) 「災害時のペット対策～ペットとの同行避難対応ガイドライン～」を基に、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策の推進を支援
- (ウ) 防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練支援やパネル展示を実施
- (エ) 防災拠点訓練時にペット同行避難や日頃の備え等に関する講話を実施

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

- (ア) 広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知（令和4年7月号に掲載）
- (イ) 地域防災拠点等での災害時ペット対策のパネル展示を実施
 - 【展示実施場所】
 - ・区民ホール（6月27日～7月1日、8月29日～9月2日）
 - ・地域防災拠点訓練（3拠点）
 - ・三ツ沢公園感謝デー（令和5年3月5日）
- (ウ) 「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を窓口等で配布



地域防災拠点でのペット同行避難訓練

2 神奈川区防犯対策事業 4,267,016円（予算額5,078,000円）

☆重点事業

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等とも連携を図りながら情報提供・啓発活動などの防犯対策を推進しました。

特に、特殊詐欺の犯人が嫌う「声の録音」を自動で行う「迷惑電話防止機能付電話録音機」の普及促進を重点的に進め、区内の特殊詐欺被害の撲滅を目指しました。

(1) 住みよいまちづくり活動（21 地区連合町内会の防犯活動支援）

地域活動を促進し住みよいまちづくりにつなげるため、助成金を交付（7月～9月）

(2) 防犯活動啓発事業

ア 防犯情報メールの配信（10件）、広報よこはま区版等への掲載（5月～7月、9月、2月）

イ 地域への防犯活動用物品の貸与・配布（帽子124個・ベスト109枚・防犯腕章101個他）

ウ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発



帽子



防犯パトロールベスト



特殊詐欺・防犯パトロール旗



特殊詐欺啓発通帳入れ

(3) 特殊詐欺撲滅対策

ア 地域への「のぼり旗」配付（124枚）、区民への啓発物品の配布

イ 防犯対策電話録音機の無償貸出（136台を貸与）

ウ 区役所・県警本部・神奈川警察・市民局合同サギ撲滅キャンペーン実施（1月17日）



迷惑電話防止機能付電話録音機



区役所での「サギ撲滅キャンペーン」 県警本部・神奈川警察・市民局合同

3 放置自転車対策事業 336,025 円 (予算額 700,000 円)

地域振興課

歩行者の通行の安全を守るとともに、まちの美化を推進するため、駅周辺の自転車等放置禁止区域内において、監視員による監視・指導、地域と連携した啓発活動等を実施することにより、放置自転車等の減少を図りました。

(1) 自転車マナーアップ事業

- ア 広報よこはま区版等を用いた啓発
- イ 自転車利用のマナーアップ啓発

(2) 自転車等放置防止推進協議会への助成

- ア 各禁止区域の協議会に対する活動費助成

4 交通安全対策事業 4,771,790 円 (予算額 4,260,000 円)

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等との連携により、交通事故発生件数の減少を図りました。また、路側帯のカラー化などの安全対策を行い、歩行者環境の改善を図りました。

(1) 交通安全啓発事業

ア 交通安全教室の実施

対象：小学生（19校（私立1校）、参加人数3,460人）、中学生（1校、参加者600人、スクエアドストレイト方式※）

イ 親子三代自転車教室の実施（入江地区自治会6月26日・宮向自治会3月5日）

ウ 交通安全チラシ及び啓発物品の配布、広報よこはま区版の活用（4月、5月、7月、12月）

※スタントマンが交通事故を再現することにより、受講者に衝撃や怖さを実感させ、交通ルールの必要性について考える機会を与える教育技法



入江地区自治会親子三代自転車教室



宮向自治会親子三代自転車教室



警察と連携した秋の交通安全啓発キャンペーン
(9月21日)

(2) 神奈川区交通安全対策協議会事業

神奈川区交通安全対策協議会、交通安全功労者表彰の実施（4月28日）

(3) 児童通学路整備事業

- ア スクールゾーン対策協議会活動の支援
- イ 通学路内の路面標示の補修

(4) 交通安全対策工事

路面標示・標識の設置、補修等



通学路 路面標示の補修

神奈川区内まちづくり関連予算

① 神奈川東部方面線整備事業（都市整備局事業）

相鉄・JR直通線（西谷～羽沢横浜国大）は、令和元年11月30日に開業しました。
相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大～日吉）は、工事や開業準備を進め、令和5年3月18日に開業しました。

② 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備しました。
令和5年度末のしゅん工を目指し、令和4年度は、引き続き、建築工事を進めました。

③ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めました。
令和3年度は、基盤整備や移転補償、埋立工事を実施しました。
令和4年度も、引き続き基盤整備や埋立工事を進めており、地区内の建築工事も始まりました。

④ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

横浜市防災計画【震災対策編】の減災目標の達成に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行いました。また、浦島町地区及び六角橋商店街地区において進める協働による防災まちづくりについて、今後も継続して取組を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進しました。

⑤ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）

平成31年2月に「第2期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全な空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和3年度は、「横浜市空家等に係る適切な管理、措置等に関する条例」の施行（8月1日）に伴い、更なる管理不全な空家の解消に向け、区局が連携し取組を強化しました。

令和4年度は、所有者調査委託等の従前の取組に加え、区が行う管理不全な空家等の初期対応の委託をモデル実施しており、より効率的かつ有効な管理不全な空家等の解消に向けた検討を進めました。

⑥ 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）

横浜市自転車活用推進計画の「いかす」施策に基づき、公共交通の機能補完等を目的とした横浜市内広域でのシェアサイクル事業の社会実験（令和4年6月10日～令和7年3月31日）を民間事業者と協働で実施しています。神奈川区は先行的に事業を展開する重点展開区として位置づけられています。

⑦ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）

菅田の丘小学校は令和3年4月に、旧池上小学校と旧菅田小学校の統合校として開校しています。菅田の丘小学校の新校舎は旧池上小学校の敷地に令和4～5年度に整備を行い、令和6年度以降、新校舎に移転する計画としています。

二谷小学校については、最も古い校舎が目標耐用年数の築70年に迫っているため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、建替えを検討しています。検討にあたっては、近隣の斎藤分小学校が小規模校であるため、学校統合の検討を学校規模適正化等検討部会において進めました。

⑧ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

応急復旧活動拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めています。令和4年度は旧池上小学校や済生会神奈川県病院などの下水道管きょ耐震化を11月に完了しました。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、概ね戦後から昭和45年頃にかけて布設された古い下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。令和4年度は寺尾子安などで工事を施工しました。

⑨ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和4年度は富家町公園で実施しました。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。令和4年度は片倉うさぎ山公園、山王森公園などで実施しました。

⑩ 道路維持修繕事業（道路局区配）

片倉二丁目（主要地方道横浜生田）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図りました。

⑪ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、早期取得、早期完成を目指し、関係地権者と用地交渉を進めました。

⑫ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めています。引き続きバリアフリー化に向けた整備を行うとともに、損傷した誘導ブロックの補修工事を行いました。

⑬ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

学校統合に伴う通学安全対策として、早期完成を目指し、交差点等の道路拡幅及び歩道設置を進めました。

Ⅱ 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 21,773,760円

(予算額 26,746,000円)

- 5 介護予防・高齢者支援事業 重点
- 6 かながわ子育てかめっ子支援事業 重点
- 7 かながわ安心子育て支援事業 重点
- 8 地域活動支援事業
- 9 スポーツ振興事業
- 10 青少年育成費
- 11 ふれあい活動支援事業
- 12 かながわ健康づくり応援事業
- 13 民生委員・児童委員活動支援事業
- 14 障害者支援事業
- 15 市立保育所地域交流事業
- 16 放課後児童健全育成連携強化事業
- 17 認可保育所等対応力向上支援事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑭ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）
- ⑮ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）
- ⑯ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ⑰ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ⑱ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ⑲ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ⑳ DV対策事業（こども青少年局区配）
- ㉑ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）
- ㉒ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）
- ㉓ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ㉔ 自殺対策事業（健康福祉局区配）
- ㉕ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ㉖ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ㉗ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ㉘ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

5 介護予防・高齢者支援事業 4,118,008 円（予算額 4,133,000 円） ☆重点事業

高齢・障害支援課

新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者のフレイルが課題となっています。令和4年度は、新たな取組を取り入れながら、介護予防を普及啓発しました。また、認知症高齢者を支援する施策に取り組みました。さらに、地域ケアプラザと協働し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進しました。

(1) 介護予防普及啓発事業

①高齢者の外出を促し、②高齢者の健康への意識を高め、③地域での様々な健康づくりの活動を再活性化させるべく、地域包括支援センターとも協力し事業を展開しました。

ア 健康行動の「継続」につながる物品の作成・配布

(ア) 体にいいこと手帳、「つながる」絵葉書セットなど【新規】(10月から配布)

(イ) 介護予防出張講座や元気づくりステーション、地域サロンなどの地域活動への参加者を増やし、さらに参加者の健康行動の「継続」を促進

イ 体力測定 de 健康アップ講座の開催

ウ 健康アップ協力隊への継続した支援

(ア) スキルアップ研修会の実施(5月30日、6月9日)

(イ) かめ亀手ぬぐいサイズ(神奈川区オリジナル介護予防体操)の普及、活用

(ウ) 神奈川区版シニア通信の発行(10月)

エ 窓口へのデジタルサイネージの導入(3月)



窓口のデジタルサイネージ

(2) 認知症高齢者支援事業

認知症サポーターや、キャラバン・メイトをはじめとした地域の人材育成を行い、各種取組を推進しました。

ア 認知症への理解を促進する広報印刷物の発行(1月)

イ 認知症高齢者みまもり協力店の普及展開

(ア) みまもり協力店の登録(随時)

(イ) みまもり協力店スキルアップ(12月5日)、キャラバン・メイト交流(11月10日)

ウ 高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配布(随時)

エ キャラバン・メイト事務局会議の実施(5月31日、7月15日、9月5日、12月16日、令和5年2月17日)



みまもり協力店スキルアップ研修会での認知症VR体験の様子

(3) 地域包括ケア推進事業

横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けた取組を推進しました。

ア 地域包括支援センターで開催する地域ケア会議のスキルアップ

地域ケア会議連絡会の開催(8月29日、2月15日)

イ 医療と介護の連携

専門職連携検討会の開催(7月※中止、11月11日)

⑭ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）

- ・地域包括ケア推進事業（健康福祉局事業）
地域包括ケアシステム構築に向け、区レベル地域ケア会議の開催等を通じて推進しました。
- ・生活支援体制整備事業（健康福祉局事業）
区社会福祉協議会と地域ケアプラザ等に配置した「生活支援コーディネーター」を中心に、高齢者の生活支援、介護予防・社会参加が充実した地域づくりを支援しました。
- ・介護予防・生活支援サービス事業（健康福祉局事業）
介護保険制度改正の一環として、全国一律だった予防給付（訪問介護・通所介護）を、市町村が地域の実情に応じて多様なサービスとして充実させる事業です。従来の要件を緩和した訪問型サービスや、一定の基準を満たす住民主体の活動に補助金を交付して新たなサービスに位置付けるものなどがあります。
- ・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）
横浜市医療局・区役所が医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所ずつ「在宅医療連携拠点」が設置されています。
- ・在宅医療推進のための人材育成（医療局事業）
ACPの概念を正しく理解し、適切に市民の方に伝えられる人材を育成するなど在宅利用を推進するための人材を育成するための研修を行いました。

⑮ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）

- ・元気づくりステーション事業
介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をしました。（区内24か所）
*内容：体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など
- ・地域介護予防活動支援事業
地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指すとともに、介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」などを展開しました。

⑯ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

- ・神奈川区認知症高齢者等 SOS ネットワーク
認知症のある方等を事前登録することで、行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。
- ・横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）
行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等 SOS ネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付しました。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。
- ・認知症初期集中支援チーム事業（健康福祉局区配）
医療や介護サービス等につながらない認知症の方や疑いのある40歳以上の方を対象に、医師や保健師等の専門職で構成されたチーム員が、受診に向けた動機付けや介護サービス利用の勧奨・指導等を行いました。

6 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,914,204 円（予算額 4,742,000 円）☆重点事業
こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりや情報提供を行いました。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動を支援しました。

- (1) **土曜日両親教室**
両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催（計 11 回）（延 396 人参加）
- (2) **赤ちゃんふれあい学級**
児童が生命の誕生や大切さについて学ぶことを目的に、区内小学校で出張授業を実施（小学校 1 校 12 月 8 日実施 児童 67 人参加）
- (3) **養育ネットワーク事業**
0 歳児の育児教室を実施（区内 16 か所、延 2,013 人参加）
- (4) **外遊び活動支援事業**
 - ア 外遊び体験イベント（10 月～11 月 3 回実施 延 138 人参加）
 - イ 外遊びネットワーク交流会（11 月 14 日実施 延 14 人参加）
 - ウ 外遊びの大切さを啓発するリーフレット等の作成（10,000 部）
 - エ 外遊び講演会（3 月 1 日オンライン実施 39 人参加）
- (5) **すくすくかめっ子事業**
 - ア 全体研修会（令和 5 年 2 月 13 日実施 40 人参加）
 - イ 方面別交流会（9～10 月 6 エリア実施 延 55 人参加）
- (6) **子育て情報提供事業**
子育て応援マップ（7,000 部）
- (7) **事故予防啓発事業【新規】**
 - ア 小児救急講演会の実施（令和 5 年 1 月 30 日実施 延 18 人参加）
 - イ 事故予防啓発物品の作成（誤飲予防啓発うちわ 2,100 枚）
 - ウ 小児救急動画作成（「救急救命士に学ぶ！こどもの心肺蘇生と AED」、「救急救命士に学ぶ！こどもの窒息時の対応」計 2 本 YouTube 横浜市公式チャンネル公開中）



小児救急動画

7 かながわ安心子育て支援事業 1,799,573 円（予算額 2,641,000 円） ☆重点事業

こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止する体制を充実させるため、地域関係者・機関等との連携強化に取り組みました。また、乳幼児の保護者が具体的な子育て手法を学ぶ機会を充実させ、育児力の向上を支援しました。

(1) 児童虐待防止対策事業

ア 子育て講演会

講演会形式を見直し、より広く市民に周知できるように、育児の対応方法に関するリーフレットを作成（10,000部）、乳幼児健康診査や個別相談等で配布

イ 虐待リスクのある対象者への支援【拡充】

- (ア) 第1子を対象とした新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降への電話、家庭訪問等を実施
- (イ) 乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等を実施（訪問件数 47 件）



子育てワンポイントアドバイス
リーフレット

(2) 親支援プログラム【拡充】

子育ての不安や悩みを持つ保護者に対し、ノウハウを具体的に学べる講座を実施（年2回1コース目6～7月、2コース目11月（各4回）実施、各4組参加）

(3) 子育て支援教室

親子教室に来ている2歳児の保護者に向けた学習会を実施（年1回、6月、6組参加）

(4) ひとり親家庭相談支援事業【拡充】

ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施（年25回）

(5) ファミリーサポート事業【新規】

不適切養育のおそれのある就学後児童の養育者に対し、グループミーティングを実施（年10回）

(6) 虐待対応に関わる専門職の対応力強化

複雑で重篤な児童虐待事例の増加に対応するため、関係者のスキルアップや精神的な負担を軽減するためのスーパーバイザーによる事例検討等を実施（年1回、2月）

(7) DV対応に関わる専門職の対応力強化

DV・児童虐待被害者への対応力強化のため専門職のスキルアップに向けたスーパーバイザーによる事例検討等を実施（年2回：7月、1月）

⑰ こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、町の子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めました。

参考：令和4年4月～令和5年3月の実績 訪問員58人、訪問件数1,656件

⑱ 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区内には「かなーちえ」（NPO法人 親がめが運営）があります。

参考：令和4年4月～令和5年3月の実績 利用者数延41,957人

⑲ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めました。

⑳ DV対策事業（こども青少年局区配）

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行いました。

㉑ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）

養育環境に課題がある子どもを対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施しました。

8 地域活動支援事業 2,725,648 円（予算額 3,432,000 円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行いました。

- (1) 自治会町内会長感謝会（3月）
 - ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施
 - イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施
- (2) 自治会町内会配送業務
各自治会町内会に月1回（8月・12月を除く）掲出依頼物などを配送
- (3) 自治会町内会加入促進事業
 - ア 加入促進のチラシや啓発グッズを転入者セットとして配布
 - イ 自治会町内会加入促進として電子申請システムを活用した支援

9 スポーツ振興事業 908,895 円（予算額 1,150,000 円）

地域振興課

スポーツ活動を通じて、区民の健康維持、地域住民の交流等を図るため、地域スポーツの推進に取り組む団体を支援しました。

- (1) 区民大会等各種事業補助
 - ア 各種スポーツ大会、講習会の支援
野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、少年野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引き
- (2) トップスポーツチームとの連携事業
神奈川区にゆかりのあるプロスポーツチームと連携しスポーツ教室等を実施（中止）

10 青少年育成費 421,633 円（予算額 542,000 円）

地域振興課

学齢期の子ども・青少年の育成支援を推進するため、子どもや青少年がいきいきと活動、活躍できる機会をつくり、また、各種行事や体験を通して、関係団体の活動を支援しました。

(1) 青少年活動推進事業

子ども会育成連絡協議会が行う青少年向け事業や青少年育成者研修事業への支援



令和4年度 子ども新春書道展

(2) 青少年パワー発揮事業

ア B-SKY FES2022

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント実施（9月）

11 ふれあい活動支援事業 1,651,633 円（予算額 2,014,000 千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活のなかで気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援しました。

(1) 全体研修会・全体会議

ア ふれあい活動員全員を対象とする研修会（12月）

イ 各地区社会福祉協議会会長及びふれあい活動地区まとめ役を対象とする全体会議（中止）

(2) ふれあい活動支援

ふれあい活動支援補助金の交付

② ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげました。

《令和4年度 対象者数》

新たに75歳になったひとり暮らし高齢者 1,153人

新たな75歳以上の高齢者のみ（2人以上）世帯の高齢者 1,079人

12 かながわ健康づくり応援事業 1,808,732 円（予算額 2,514,000 円） 福祉保健課

区民の健康寿命の延伸を目指し、生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体等と連携し、健康づくり活動を展開しました。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業（保健活動推進員等と協働）

ア ウォーキングイベント

- (ア) 保健活動推進員等と協働したウォーキング研修（1月）
- (イ) 保健活動推進員等が主催する地区におけるウォーキング開催支援（随時）



ウォーキング研修

(2) 健康づくり推進事業

ア 区庁舎内常設健康チェック・情報コーナー

- (ア) コーナーを活用した健康相談の実施（年 10 回）
- (イ) 関係機関・団体等の健康づくり活動情報の充実
- イ 地域における健康づくり活動の支援**
歯周病予防・オーラルフレイル*予防をテーマとした歯科出前講座の開催（年 7 回）

※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態

ウ 働き・子育て世代の健康づくり

両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施（12 コース）

エ 感染症予防

区民への感染症予防に関する啓発研修の開催



健康チェック・情報コーナー

(3) 食育普及事業

ア 保育園、小中学校等との連携による食育推進

栄養士、養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会（年 2 回）、食育展（年 1 回）の実施

イ 食育関連講座

- (ア) 学校等との協働により出前食育講座を実施（年 2 回）
- (イ) ヘルスマイトとの協働による食育の普及（年 3 回）
- (ウ) 3 歳児健康診査での食育ミニ講座（年 24 回）



食育展（区庁舎 1 階ホール）

⑳ 370 万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）

第 2 期健康横浜 21 計画の中間評価の結果を踏まえ「食生活」「運動」「喫煙・飲酒」「歯・口腔」「休養・こころ」の 5 つの分野の取組のほか、企業や地域等と連携した都市型の健康づくりをすすめ、オール横浜で健康寿命の延伸を目指しました。

13 民生委員・児童委員活動支援事業 944,000 円（予算額 944,000 円） 福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげました。

(1) 訪問活動

ア 訪問活動用物品の購入

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための物品を購入
(ポケットティッシュ 23,471 個 9月配布)

イ 民生委員活動に使用する物品の購入

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、訪問活動に不安を覚える民生委員が多いため、安心して活動を行えるよう訪問の際に民生委員が使用することの出来る物品を購入
(マスク 1,750 枚 8月配布)

(2) 広報・研修

ア 広報リーフレットの増刷

民生委員の役割や活動内容等をPRするちらしを増刷し、区民まつり等地域で配布

イ 新任委員研修

令和4年12月の一斉改選で新たに委嘱された委員を対象に、民生委員・児童委員の心構えや活動に必要な知識を学ぶ研修を実施(年1回)



14 障害者支援事業 1,565,181円（予算額1,933,000円）

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援しました。

(1) 障害者地域作業所等の活動支援

ア 花のデリバリー

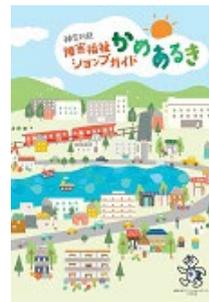
フラワーアレンジメントの配達を委託（通年 48 週）

イ 障害者地域作業所等の活動支援

(ア) 自主製品紹介ガイドブック発行（12月、3,000部）

(イ) 区役所販売支援（通年・週1回程度）、障害者週間（12月）等での啓発

(ウ) 自立支援協議会啓発部会による区民まつりでの啓発活動（10月9日）



自主製品紹介ガイドブック
「かめあるき」

(2) 障害児者の健康づくり支援

ア 障害特性や個別性に応じた歯科口腔ケア支援

(ア) 支援者向けアンケートの実施（7月）

(イ) 障害特性に応じた健康教育及び支援者ヒアリングの実施（1月6日、17日、2事業所）



障害者施設の自主製品販売

(3) 関係機関との連携支援

ア 精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

(ア) 関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催（2月1日、17日、27日、3回）

(イ) 神奈川区内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催（障害者地域自立支援協議会各部会会議）

(ウ) 生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催（随時）

(4) ひきこもり状態にある人への支援（生活支援課との共催）

ア 関係各課及び関係機関職員向けひきこもり支援研修の実施（8月2日）

イ ひきこもり事例検討会の実施（2月1日）

⑭ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

自殺対策強化月間（9月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みました。

自殺予防リーフレット配布。広報よこはま区版9月号、3月号に掲載。

15 市立保育所地域交流事業 1,143,773 円（予算額 1,758,000 円）

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施しました。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行いました。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図りました。

(1) 食育推進事業

地域の親子を対象にランチ交流を実施

(2) 地域交流事業

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施

(3) 保育施設等情報パンフレット作成

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成
(10,000 部)



施設開放

(4) 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会（年 6 回）等を行い、保育の質の向上を図りました。

㉕ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やしました。

㉖ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めました。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施しました。

㉗ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行いました。

【令和 4 年 4 月開所】

- ・グローバルキッズ新子安第二保育園（新子安 1 丁目） 定員 60 人
- ・反町ひかり保育園（広台太田町） 定員 60 人

※反町ひかり保育園は横浜保育室（入江町保育園）が認可保育園へ移行

16 放課後児童健全育成連携強化事業 392,636 円（予算額 382,000 円） こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの運営主体や職員に対する研修を実施することにより、クラブ相互間の連携と安定運営を促進しました。また、人材育成を通じ、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを目指し、放課後事業の質の向上を図りました。

(1) 集合研修実績

研修名	対象者	内容	実施日	参加人数
養育支援	現場職員	児童虐待等への対応	6月29日	41人
感染症対応	現場職員	感染性胃腸炎等が発生した場合の対応	11月10日	21人
クレーム対応	現場職員 運営主体	クレームとの関わり方（1回目：理論編、2回目：実践編）	11月17日	29人
			12月15日	27人
人材育成	現場職員 運営主体	パワーハラスメント、職場の環境づくり、コミュニケーション	12月20日	16人

(2) 出前研修実績

講座名	対象者	内容	実施日	実施クラブ数 (参加人数)
安全対策	現場職員	施設の安全管理や災害への備え	6月24日 2月21日	2クラブ (26名)
パソコン操作	現場職員	「使えるパソコン基礎知識」習得のための個別研修	12月7日	2クラブ (6名)
			12月16日	
			12月22日	
			12月23日	

【対象】放課後児童健全育成事業クラブ数（令和5年3月末現在）

放課後キッズクラブ 18 か所、放課後児童クラブ 17 か所



集合研修の様子



出前研修の様子

㊸ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を実施しました。

17 認可保育所等対応力向上支援事業 379,844 円（予算額 561,000 円） こども家庭支援課

施設を対象に、保育所等で発生しやすいトラブルや判例などを知り、トラブルを未然に防ぐための予防策や対応のノウハウを習得するため、研修を実施しました。（8月22日）

Ⅲ 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり 31,938,067円

(予算額 35,133,000円)

- 18 地域力アップ推進事業 重点
- 19 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業 重点
- 20 地域福祉保健活動推進・支援事業 重点
- 21 かながわ魅力発信事業
- 22 区民協議会支援事業
- 23 かながわエコスクラム事業
- 24 まちづくり推進事業
- 25 わが町かながわ商店街魅力発信事業
- 26 神奈川区民まつり事業
- 27 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- 28 文化活動支援事業
- 29 区民活動・生涯学習支援事業
- 30 動物適正飼育推進事業
- 31 花いっぱい事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑲ 元気な地域づくり推進事業（市民局区配）
- ⑳ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ㉑ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ㉒ 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ㉓ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）
- ㉔ 脱炭素化プラス事業（温暖化対策統括本部区配）
- ㉕ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ㉖ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ㉗ 横浜市地域猫活動支援事業（健康福祉局事業）
- ㉘ 猫の不妊去勢手術推進事業（健康福祉局事業）

18 地域力アップ推進事業 1,174,588円(予算額2,027,000円) ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めました。

(1) 地域人材マッチング事業

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する自治会町内会を支援しました。

ア 地域活動の担い手の掘り起こしを目的に、自治会町内会が実施するアンケートの検討・作成支援(宮向自治会)

イ アンケートにおいて地域活動に関心を示した住民と、自治会町内会とのつながりづくりに向けての支援(神大寺地区自治連合会、高島台町内会)

(2) 地域づくり大学校卒業生支援事業【新規】

地域づくり大学校の卒業生を対象に、新たな取組への補助や様々な人や団体とのつながりづくりを支援

ア かながわ地域支援補助金事業(地域づくり大学校卒業生支援コース)(3団体)

イ 地域づくり大学校交流会の開催(年2回:9月、1月)

(3) 地域情報の発信

区内で行われている特色ある地域活動の事例を広く区民に紹介する情報誌「地域のわ通信」を区ホームページやSNSで発信しました。(6回)

また、広報よこはま区版特集号で地域活動事例を紹介しました。(2月)



「地域のわ通信」の発行

29 元気な地域づくり推進事業(市民局区配)

区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施しました。

また、自治会町内会をはじめとした地域の様々な組織による課題解決への取組や区民の自主的な地域活動を支援する「かながわ地域支援補助金」事業(前年度からの継続団体のみ対象)を行いました。

- ・協働の「地域づくり大学校」事業
- ・かながわ地域支援補助金事業(スタートアップコース)

19 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

★重点事業

2,018,772 円 (予算額 2,133,000 円)

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みました。

(1) 神奈川区資産の活用

ア 「わが町 かながわ とっておき」を活用したイベントの開催等

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々に組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援しました。

なお、企画にあたっては、新たにICTの活用を検討しました。

<具体的事業>

- ・「わが町かながわとっておき」専用ホームページを令和3年度地域づくり大学の卒業生と協働して作成し、新たな魅力発信を実施
- ・小学生を対象として「まち自慢新聞コンテスト」を実施（小学校3校 応募数：201点）
- ・とっておきを巡るバスツアーを実施（11月）
（見学施設：三ツ沢公園馬術練習場、横浜羽沢駅（JR貨物））

イ 第14回「わが町 かながわ とっておき」写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

「海と緑と丘のまち神奈川区」の魅力表現する写真を小中学生、一般より募集し、入賞作品を用いた魅力発信を行いました。（応募数：549点）（8月～3月）



第14回「わが町かながわとっておき」写真コンテスト（令和4年度）
【小中学生部門】最優秀作品

(2) 看板の維持管理

「わが町 かながわ 50 選」案内看板の現況確認を実施し、必要に応じて補修を行い、適切に維持管理しました。



案内看板の一例

20 地域福祉保健活動推進・支援事業 3,759,791 円（予算額 4,891,000 円） ☆重点事業

福祉保健課

新型コロナウイルス感染症の影響により当初の策定期限を1年間延長した「かながわ支え愛プラン（第4期 神奈川区地域福祉保健計画）」が完成したことから、区民、活動団体、施設、区社会福祉協議会・地域ケアプラザなどの関係機関と協働して推進しました。

第4期計画の推進にあたり、計画の周知を重点的に行うとともに、毎年の振り返りを行い、取組の達成度合いや課題を共有することで、次年度の取組に活かすなど、地域の実情に合わせた支援方法についても検討しました。

(1) 区計画の推進

ア 区計画の周知

(ア) 地域活動の取組を地域情報誌（紙面）やホームページ上特設サイトへ掲載

(イ) 区計画の概要版の更新・発行

イ 区計画の推進

(ア) 区計画の推進・進捗確認のために意見交換をする場となる「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（9月、12月、2月）

(イ) 計画策定アドバイザーを活用した推進方法の検討



かながわ支え愛プラン
(第4期地域福祉保健計画)

(2) 地区別計画の推進

ア 各地区（21地区）の特徴を把握するためのデータ分析

イ 地区別計画推進のため、地域ケアプラザごとに研修を実施

ウ 地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による地区支援

エ 各地区において、取組の達成度合いや課題を共有し、今後の進め方について地区別計画推進会議など話し合う場の開催を支援（21地区のうち14地区で実施）

オ 地区別計画情報交換会の開催（11月）

カ 各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月）

21 かながわ魅力発信事業 4,780,335 円（予算額 4,594,000 円）

区政推進課

区民ニーズをとらえ、区の情報を効果的に発信しました。また、区内の様々な資源を活用し、区の魅力を創出・発信しました。

(1) 区ホームページ・ツイッターを活用した情報提供

(2) 区民生活マップの発行

日本語版 13,000 部

(3) 区のマスコットキャラクター「かめ太郎」の活用

区民等へ着ぐるみの貸出やイラスト（素材）の提供

(4) 区の花「チューリップ」の植栽、写生画展の開催

ア 区内小学生を対象として写生画展を開催、受賞作品を神奈川図書館等で展示（8月）

神奈川図書館 8月10日～17日

かなっくホール 8月23日～29日

イ 区内小学校に球根を配付（11月）

公立学校全 18 校、市立盲特別支援学校、私立学校 4 校 計 23 校



令和4年度チューリップ写生画展
(かなっくホール ギャラリーB)

(5) 歴史活用事業

ア 旧東海道歴史史跡等を活用したイベントの実施

神奈川宿謎解きウォーク（11月1日～12月6日）

（参加者数 1,045 人）

イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史

亀さんぽ」を活用した広報

ウ 歴史の道ガイドパネル等の更新（4か所）

③⑩ 緑化推進事業（環境創造局支配）

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配付しました。

22 区民協議会支援事業 156,029 円（予算額 427,000 円）

区政推進課

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動（運営委員会、各部会、区民のつどい、地域のつどいなどの会議・行事）に対して支援を行いました。

(1) 区民のつどいの開催（12月4日、130人参加）

(2) 施設見学会の実施

(3) 運営委員会の開催

※機関紙「こぶし」は自治会町内会での回覧を実施していないため見送り

23 かながわエコスクラム事業 1,268,790 円 (予算額 1,759,000 円)

区政推進課

区民・事業者との協働により、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標の達成に向けて、温暖化対策を推進しました。

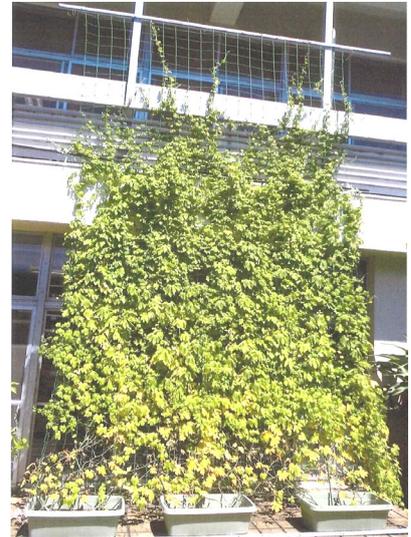
エコ講座や緑のカーテンの普及啓発、地産地消推進等の取組を進めました。

(1) エコ活啓発事業【拡充】

- ア 地球温暖化に関する小学生向け出前教室の開催 (2校)
- イ カーボンオフセットへの取組の支援・PR
- ウ エコパートナー協定に基づいた横浜FC協働事業
かながわ区民DAY出展 (5月29日)

(2) 緑化推進事業【拡充】

- ア 区内公共施設、私立保育所等での緑のカーテンの普及啓発 (31施設)
- イ 区役所での緑のカーテン設置 (5月～10月)
- ウ 区民向け緑のカーテンの普及啓発
(緑のカーテン用ゴーヤ種の配布 200人)



緑のカーテン育成の様子
(幸ヶ谷公園コミュニティハウス)

(3) 地産地消推進事業

- 区内産野菜等の出張販売の実施 (年2回)
(5/29 かながわ区民DAY、3/22 神奈川地区センター)
 - ・区内の農業PRのため区内農家による野菜や花苗の販売と花の育成相談を実施
 - ・直売所マップ集やレシピ集などを活用した地産地消の魅力発信
 - ・野菜の他、花きなど区内産農産物のPR

③① 緑化推進事業 (環境創造局支配)

地球温暖化対策の一環として、区内の子どもを育む施設での緑化の推進に取り組みました。
・小学校・保育所に緑のカーテンを設置 (18施設)

③② 身近に農を感じる地産地消の推進事業 (環境創造局支配)

イベント等の際に区の丘陵部で行われている農業と地産地消の魅力を知ってもらうための啓発物等を作成しました。

③③ 花苗生産配布事業 (環境創造局事業)

市内産のシクラメン等を区庁舎に置き、区内で花きが生産されていることをPRしました。

③④ 脱炭素化プラス事業 (温暖化対策統括本部支配)

エコ活啓発事業のタブレットを活用した小学生向け出前教室について、実施校を追加して開催しました。

また、地域活動における脱炭素化の取組に関する講座を、地域づくり大学校において実施しました。

24 まちづくり推進事業 6,238,548円(予算額6,045,000円)

区政推進課

「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指すため、各地域の特性や課題を把握し、魅力あるまちづくりを進めました。

(1) 企画調整・まちづくり事業

神奈川区の西部エリアを対象に、日常における行動経路などをお聞きし、地域の方が感じている課題等を把握し、地域交通への対応策や将来的なまちのあり方等の検討をするため、行動実態調査を実施しました。

対象エリア；三枚町、菅田町、羽沢町、羽沢南一～四丁目

送付数：3,000世帯の世帯主、及び同居の方1名

回収数：2,234票 回収率：37.2%（配布票数全体）、48.3%（世帯主のみ）

(2) 歩行者ネットワーク強化事業

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行いました。

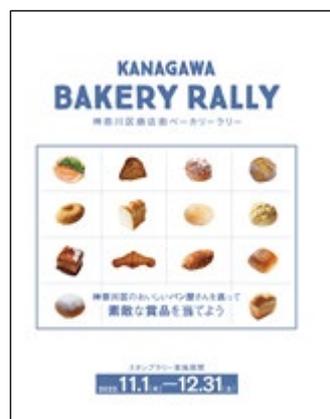
25 わが町かながわ商店街魅力発信事業 2,038,030円(予算額2,010,000円)

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図りました。

(1) 商店街ラリー事業

神奈川区内の商店街のお店からエントリーされた商品を紹介するとともに、店舗を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作りました。(11月～12月)



令和4年度実施商店街ラリー（ベーカリーラリー）冊子

③⑤ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

③⑥ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図りました。

26 神奈川県民まつり事業 4,000,000円（予算額 4,000,000円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって開催する神奈川県民まつりを支援しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信で開催しましたが、令和4年度は反町公園で開催しました。安全安心に配慮した開催とするため、感染対策の徹底や感染症対策に従事する方々への感謝・支援の取組を実施しました。

- (1) 実行委員会や各運営部会との連絡調整
- (2) 会場等の利用支援
- (3) 開催日：10月9日（日）午前10時から午後3時半まで
- (4) 開催内容：各種団体によるブース出店（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）
※感染症拡大防止のため中止：ステージプログラム、抽選会、フリーマーケット
- (5) 感染症対策：検温、消毒、マスクの着用等基本的な感染症対策の実施、LINE コロナお知らせシステムを活用した連絡先把握、掲示やアナウンス等を用いた感染対策への協力をよびかけ等



開催ポスター（令和4年度）



反町公園での開催の様子（令和4年度）



会場入口での検温、消毒の様子（令和4年度）



27 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 1,019,694 円 (予算額 1,110,000 円)

地域振興課

「ヨコハマ 3 R 夢プラン」、特に 3 R のリデュース（発生抑制）を推進するため、食品ロスの削減、プラごみ削減等の普及・啓発を実施しました。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」の活動に取り組みました。

(1) 地域美化活動支援事業

- ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）
（9 月 28 日）

(2) 不法投棄防止対策事業

- ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4 か所）
- イ 地域と連携した不法投棄への対応

(3) ヨコハマ 3 R 夢啓発事業

- ア 地域まつり等での啓発
- イ 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- ウ 保育園や小学校等での出前授業
- エ 広報よこはま・地域回覧を活用した啓発
- オ 資源循環局神奈川事務所と連携した未分別ごみ・不適正排出事業者の調査・指導・啓発
- カ ヨコハマ 3 R 夢推進功労者の表彰（6 月 17 日）
- キ リユース食器利用促進に向けた費用補助（申請なし）
- ク フードドライブの推進（7473 個、2,475.4kg）
- ケ 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発（年 5 回）
- コ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発



フードドライブの様子

28 文化活動支援事業 1,028,599 円（予算額 1,000,000 円）

地域振興課

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援しました。また、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実させました。

(1) 文化協会補助金

- ア 区伝統芸能祭（民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい）（10 月）
- イ 区民音楽祭（コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会（協会共催））（8 月～11 月）
- ウ 区文化展（洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道、茶道の発表会）（2 月～3 月）
- エ 春のコンサート（3 月）
- オ ちいさな美術館（9 月～12 月）



令和 4 年度 区文化展 展示の様子

(2) 読書活動推進事業

- ア 読書活動を行っている方の講演会（12 月 18 日）
- イ 区内関係機関と連携した企画展などの開催
- ウ かながわ湊フェスタ等での読書活動推進に向けた広報
- エ 読書活動関係機関連絡会（6 月、2 月）



令和 4 年度 読書活動推進講演会



29 区民活動・生涯学習支援事業 2,675,270円(予算額3,311,000円)

地域振興課

地域課題を自らが解決する活動を支援するとともに、区民が健康で楽しく暮らせる情報・学びの場を提供しました。また、中間支援組織として、地域施設間の連携、担い手のマッチングなどの地域支援を行いました。

(1) 生涯学級事業

- ア 区民向けの区民企画型講座(3学級)
- イ 運営委員対象のスキルアップ講座・交流会(中止)

(2) 区民活動支援センター事業

- ア 相談・支援等
 - (ア) ボランティア相談や団体活動支援、助っ人バンク(人財バンク)を活用したコーディネート
 - (イ) 団体活動支援の一環で、活動発表の機会となる「みんなの文化祭」を開催(4月、7月(2部門)、8月、9月、1月)



みんなの文化祭 ワークショップの様子

- イ 担い手発掘・育成
 - (ア) 区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催(9月、10月、11月、2月)
 - (イ) 助っ人バンク活用の市民活動・地域活動体験講座として「助っ人バンク講座」を開催(9月)
 - (ウ) 登録団体、助っ人バンク登録者対象のスキルアップ講座・交流会(8月、2月)
 - (エ) 登録団体、助っ人バンク登録者の活動を地域へPRする場としての「区民活動支援センター活動PR展」をかながわ湊フェスタと合同開催(11月6日・神奈川公会堂)
- ウ 情報紙発行
 - (ア) 情報紙「ぐるーばる・あい」の発行(年6回・各3,000部)
- エ 地域施設間連携
 - (ア) 地域課題や情報共有などを行うため施設間連携会議の開催(6月、11月)
 - (イ) 地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行など

(3) かながわ湊フェスタ支援事業

- ア かながわ湊フェスタ2022の開催(11月6日・神奈川公会堂)
 - (ア) 区内で活躍する市民活動団体等が一堂に会し、区民に対して活動PRを実施
 - (イ) 市民活動団体同士の連携による新たな活動のきっかけづくり
 - (ウ) 「区民活動支援センター活動PR展」と合同開催することにより、地域とのマッチングを促進し地域人材を発掘、育成支援
 - (エ) 神奈川区の人やまち、環境など多面的な魅力を発信し、神奈川区への愛着感を醸成



かながわ湊フェスタ2022 ステージ発表の様子

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行いました。

(1) 犬の適正飼育啓発事業

- ア 飼い主の知識及びマナー向上のため、犬の適正飼育方法の啓発チラシやマナープレート、トイレパックを狂犬病予防注射出張会場や窓口等で配布
(啓発チラシ：441 部、マナープレート：207 枚、啓発用トイレパック：117 枚)
※狂犬病予防注射出張会場は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- イ 広報よこはま区版での啓発 (7月号に掲載)

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ア 飼い主のいない猫が多数生息し猫をめぐるトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対し、不妊去勢手術の推進・地域猫活動に関するチラシの配布 (9 地区) やセミナーの開催 (1 地区) 神奈川区猫ボランティアの派遣 (4 地区) などによる不妊去勢手術実施の支援等を実施
- イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器の貸出
- ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域 (1 地域) の円滑な活動の支援
- エ 飼い主のいない猫の増加の原因になっている飼育管理が不適切な猫の飼い主に対し、屋内飼育や不妊去勢手術実施を指導
- オ 広報よこはま区版での啓発 (令和 5 年 3 月号に掲載)

(3) ペットの預け先啓発事業

飼い主へ普段から何でも相談できる「かかりつけ動物病院」を持つことや、気象災害・火事等の被災や飼い主の入院等によるペットの一時預け先を考えておくことについて、リーフレットにより啓発しました。



かかりつけ動物病院啓発リーフレット

③⑦ 横浜市地域猫活動支援事業 (健康福祉局事業)

飼い主のいない猫 (ノラ猫) 等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援しました。登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をしました。

③⑧ 猫の不妊去勢手術推進事業 (健康福祉局事業)

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成しました。

31 花いっぱい事業 1,506,806 千円（予算額 1,550,000 円）

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作りました。

(1) 球根・花苗の配布、花壇の設置

ア 区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布し植栽を実施しました。

イ 公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置しました。



花苗の配布



花壇の設置

(2) 花苗の育成

公園愛護会等と協力した花壇に植栽する花苗の育成【中止】

(3) ボランティア団体の交流の促進

公園愛護会自らが講師となる交流会を開催しました。



IV 信頼される区役所づくり 16,493,713円(予算額10,994,000千円)

32 チーム神奈川おもてなし向上事業

32 チーム神奈川おもてなし向上事業 16,493,713円(予算額10,994,000円) 総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策を通し、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指しました。また、来庁者に利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺的环境整備を進めました。

(1) 人材育成等推進事業

ア 神奈川区を知る研修

新採用・転入者研修(4月1日、13日)

イ 職員研修

(ア) 事務処理ミス防止研修(10月13日)

(イ) クレーム対応・クレーム後のメンタルケア研修(12月8日)

(ウ) 救急救命研修(1月25日)

(2) 人権啓発事業

ア 区職員向け研修

(ア) 責任職研修(全体:2回(8月)、グループ:各2回(8月~1月))

(イ) 職員対象研修(年7回程度 8月~1月)

イ 区民向け・関係団体向け講演会(中止)

ウ タウンニュース神奈川区版に人権啓発の記事掲載(令和4年12月1日号)

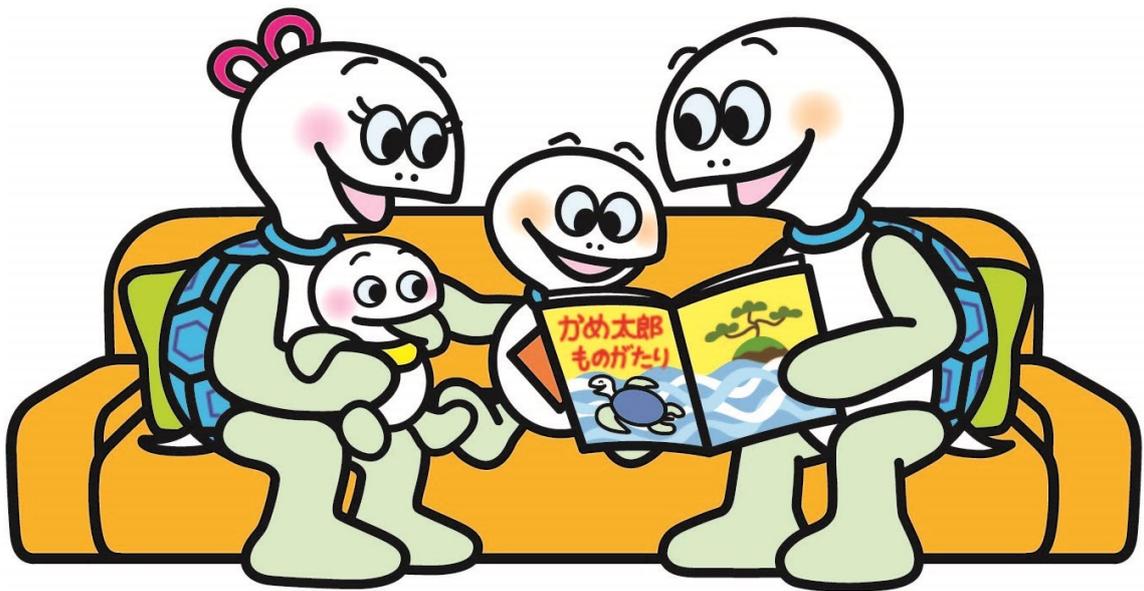
エ 区庁舎区民ホールにてパネル展を実施(11月14日~11月18日)

(3) 来庁者等への案内整備

神奈川区への転入手続きの際に、区の様々な情報をまとめた転入者セットを配付しました。また、窓口番号発券機を運用し、現在の窓口混雑状況をWeb上で確認できるサービスを提供しました。

(4) 窓口等環境改善

区役所を気持ちよく利用していただけるよう、庁舎周辺の清掃を実施し、窓口周辺や待合室等の消毒や環境改善を行いました。また、レイアウト変更等に伴い、必要となる物品の購入等を行いました。



令和5年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

令和5年度 個性ある区づくり推進費

執行状況



令和5年9月5日

神 奈 川 区

目 次

	ページ
1 令和5年度 神奈川区運営方針	1
2 令和5年度 神奈川区編成予算総括	5
3 令和5年度 神奈川区自主企画事業等執行状況	6

令和5年度 神奈川区 運営方針

I 基本目標

笑顔でつながる「神奈川区」

～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～

神奈川区では、子育て世代等の流入により人口が25万人を超える見込みとなっており、今後もしばらくは増加の傾向が続くとみられています。

このような中、神奈川区では横浜市中期計画に掲げる基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現に向けて、転入世帯をはじめとする若い世代が地域に迎えられ、つながりあう中で、支えあえる関係づくりを目指します。

さらに、神奈川区に暮らすすべての人がいきいきと暮らし続けられる「安心して温かい元気なまちづくり」を進めます。

II 目標達成に向けた3つの施策

1 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

若い世代が安心して子育てができる地域づくりを目指し、高齢の方、障害のある方、外国につながる方、すべての皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、きめ細かに行政サービスにつなげます。

2 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり

まちに暮らすすべての皆様が、つながり、支えあうことの良さを実感し、愛着を感じるような地域づくりを目指します。

また、暮らしの中で神奈川区の様々な魅力に触れ、このまちに住んでいてよかったと思えるまちづくりを進めます。



3 安全・安心なまちづくり

すべての皆様にとって必要不可欠な安全・安心な暮らしを目指して、自助・共助・公助の防災や防犯の取組を進めます。

III 目標達成に向けた組織運営 ～信頼される区役所づくり～

職員が一丸となって、横浜市中期計画の目指す方向性を念頭に置いて、信頼される区役所づくりのためにできることを考え、行動します。

必要な情報を必要な人に確実にお届けできるよう「伝わる広報」を意識するとともに、デジタル技術の活用や協働・共創の視点をもって取り組みます。

行政サービスの向上

区役所職員の一層のスキルアップにより行政サービスを正確・迅速に実施します。

現場主義の実践

職員一人ひとりが自らの果たすべき責任と役割を自覚し、区民の皆様の声に耳を傾けます。

チーム神奈川の推進

課題解決に向けて各課の連携を強化し、「チーム神奈川」で共に考え協力して取り組みます。

施策1 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり

子育て支援

- ◆ 親子のたまり場である「すくすくかめっ子」の支援
- ◆ 土曜日両親教室の開催
- ◆ ≪拡充≫家庭訪問等による虐待リスクのある対象者への支援
- ◆ ≪拡充≫ひとり親の悩みを受け止める相談支援対応
- ◆ ≪拡充≫専門職の対応力を強化するための検討会や個別相談等の実施



親子のたまり場「すくすくかめっ子」で親子が楽しむ様子

高齢・障害者支援

- ◆ 高齢者のフレイル予防に役立つ「体にいいこと手帳」や「神奈川区フレイル予防アクションマップ」の配布を通じた介護予防の推進
- ◆ イベントや広報誌等を活用した区民への認知症普及啓発の推進（VR体験会の実施等）
- ◆ 専門職を対象とした看取り期のVRを活用した研修会の実施
- ◆ 障害者地域作業所等の活動支援



VR体験会の様子

協働・共創の取組

大学等と連携し保育・教育施設の防災の取組を進めます

保育・教育施設の防災対策に取り組む横浜市立大学との協定事業の集大成として、防災教材「てくてくまっち」を制作し、区内保育・教育施設130施設に配付しました。園児や職員の防災意識の更なる向上を図ります。

伝わる広報の取組

横浜市中期計画基本戦略の実現に向けて「伝わる広報」に取り組みます

子育て支援の取組が必要とする人すべてに届くよう、広報を強化します。また、子育てを応援する地域や団体、事業者の皆様の取組を広く紹介します。

施策2 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり

地域づくり

- ◆ ≪拡充≫「神奈川区地域づくり大学校」受講生・卒業生を対象とした交流会等による様々な人や団体のつながりづくり
- ◆ アンケート等の手法による自治会町内会の担い手発掘や地域活動等とのマッチングを支援
- ◆ 「かながわ支え愛プラン」第4期地域福祉保健計画の推進
 - ・ 地域活動を広報する特設のホームページを拡充し、活動風景やインタビューの動画を掲載
 - ・ ≪新規≫地区別計画（連合町内会）の推進会議や研修会などへのアドバイザー派遣



第8期神奈川区地域づくり大学校でのワークショップの様子

魅力発信

- ◆ 神奈川区の魅力資産をまとめた「わが町 かながわ とっておき」を広く知ってもらうためのイベント等の開催や新設ホームページの周知・活用
- ◆ 商店街スタンプラリー開催による商店街の魅力発信及び活性化の促進
- ◆ 旧東海道歴史史跡等を活用したイベント開催
- ◆ 地域美化活動「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施
- ◆ 公園愛護会と連携した2027年国際園芸博覧会の開催に向けた機運醸成



4年ぶりに実地開催した区民まつりの様子

脱炭素化の推進

- ◆ <<新規>> 神奈川大学と連携した区民向け環境講座の開催
- ◆ 横浜FCと連携した啓発事業の実施、2027年国際園芸博覧会を念頭に置いた「花と緑のカーテン」による緑化推進や地産地消推進のための野菜市の開催

協働・共創の取組 多文化共生ラウンジを開設します

令和5年度中(令和6年3月予定)に多文化共生ラウンジを開設します。また、ラウンジ開設を契機として、市民活動団体等との連携・協働による多文化共生のまちづくりを進めます。

施策3 安全・安心なまちづくり

防災・減災

- ◆ <<拡充>> 関東大震災から100年の節目を契機とした防災に関する区民の関心度・認知度の向上
 - ・ 民間事業者との連携による防災啓発
 - ・ Twitterの活用等による広報強化
- ◆ 乳幼児子育て世代向けの家具転倒防止の普及啓発
- ◆ 地域防災拠点の機能強化(運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改定支援)
- ◆ <<新規>> 福祉避難所用のHUGカードの作成と訓練の実施



地域防災拠点での訓練の様子

防犯

- ◆ 防犯キャンペーンやパトロールのほか、広報紙面やホームページでの啓発
- ◆ 警察との連携による防犯メール配信などの情報提供

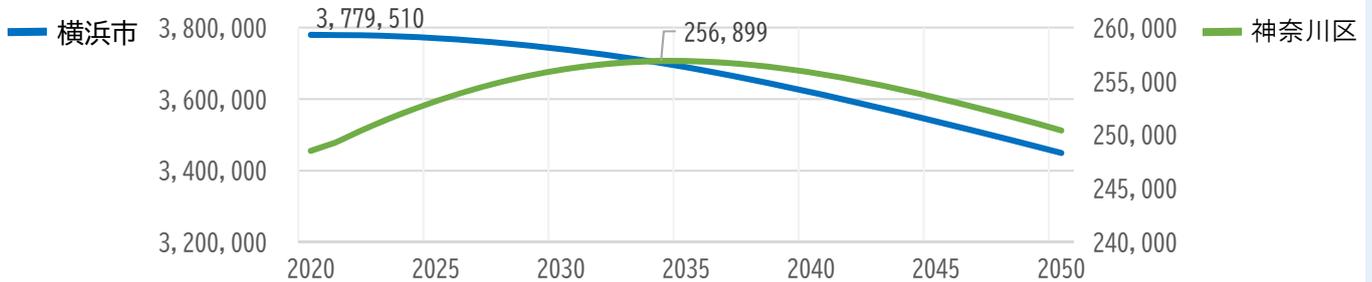
協働・共創の取組 民間事業者と連携した防災の取組を進めます

令和5年3月に日本たばこ産業株式会社(JT)と災害時の車両等の提供に関する協定を締結しました。今年度は、イオン・無印良品等の民間事業者との連携を進め、更なる防災の啓発を推進します。

— 神奈川区の概要 —

< 神奈川区の人口 >

横浜市全域の人口は、2021年をピークにすでに減少の局面に転じています。神奈川区では、少子高齢化により自然増加数はマイナスとなっていますが、転入超過による社会増加数が大きいいため、2030年代半ば頃までは人口増加の傾向が続くと見られています。



市HP「今後の人口の見通し推計(令和3年度)」出典

<用語の定義>自然増加数=出生数-死亡数、社会増加数=転入数-転出数+その他増減

< 神奈川区の特長 >

横浜市のほぼ中央に位置する神奈川区には、6路線が乗り入れ、15の鉄道駅があります。横浜駅や新横浜駅などのターミナル駅や羽田空港へのアクセスも良く、令和5年3月に開業した相鉄・東急直通線により、さらに首都圏・新横浜へのアクセスが向上しました。



★その他の事業・取組については、「令和5年度 神奈川区予算」をご覧ください。



令和5年度 神奈川区編成予算総括

1 区分別総括表

(単位：千円)

	5年度予算額	4年度予算額	差 引
(1) 自主企画事業費	106,181	106,339	△ 158
(2) 統合事務事業費	48,499	48,513	△ 14
統合事務費 ※1	28,053	28,053	0
統合事業費 ※2	20,446	20,460	△ 14
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	604,877	584,197	20,680
合 計	759,557	739,049	20,508

※1…局事業に係る事務費(人件費除く)

※2…自主企画事業に含まれていた、18区共通で実施している事業の一部を分離して計上

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 106,181千円 (4年度106,339千円) 差引 △158千円

(単位：千円)

区 分	5年度予算額	4年度予算額	差 引	増減理由
3つの施策				
I 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	24,610	26,746	△ 2,136	一部事業を施策IからIIへ移行したことによる減等
II 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり	36,959	35,133	1,826	一部事業を施策IからIIへ移行したことによる増、まちづくり推進事業(区民意識調査等)の増等
III 安全・安心なまちづくり	32,908	33,466	△ 558	神奈川区防犯対策事業(電話録音機無償貸与事業終了)の減等
IV 信頼される区役所づくり	11,704	10,994	710	チーム神奈川おもてなし事業(来庁者の利便性向上事業)の増
合 計	106,181	106,339	△ 158	(26事業)

(2) 統合事務事業費 48,499千円 (4年度 48,513千円) 差引 △14千円

(単位：千円)

区 分	5年度予算額	4年度予算額	差 引
統合事務費	28,053	28,053	0
統合事業費 (8事業)	20,446	20,460	△ 14
合 計	48,499	48,513	△ 14

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 604,877千円 (4年度 584,197千円) 差引 20,680千円

(単位：千円)

区 分	5年度予算額	4年度予算額	差 引
1 区庁舎	78,733	78,936	△ 203
2 土木事務所	8,985	8,535	450
3 公会堂	36,962	35,499	1,463
4 地区センター、集会所、スポーツ会館	205,139	196,728	8,411
5 ログハウス	8,627	8,201	426
6 区民文化センター	119,704	115,371	4,333
7 老人福祉センター	26,582	25,446	1,136
8 コミュニティハウス	55,221	54,252	969
9 スポーツセンター	55,979	51,484	4,495
10 広場・遊び場	1,346	1,346	0
11 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,599	8,399	△ 800
合 計	604,877	584,197	20,680

～令和5年度 神奈川区自主企画事業等執行状況～

I 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり 24,610千円

(4年度 26,746千円)

- 1 かながわ子育てかめっ子支援事業 重点
- 2 かながわ安心子育て支援事業 重点
- 3 介護予防・高齢者支援事業 重点
- 4 市立保育所地域交流事業
- 5 保育所・放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業
- 6 民生委員・児童委員活動支援事業
- 7 ふれあい活動支援事業
- 8 かながわ健康づくり応援事業
- 9 障害者支援事業
- 10 地域活動支援事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ① こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）
- ② 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）
- ③ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）
- ④ DV対策事業（こども青少年局区配）
- ⑤ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）
- ⑥ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）
- ⑦ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）
- ⑧ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）
- ⑨ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）
- ⑩ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）
- ⑪ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）
- ⑫ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）
- ⑬ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）
- ⑭ 370万市民の健康づくりの推進（健康福祉局区配）
- ⑮ 自殺対策事業（健康福祉局区配）

1 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,746 千円（4年度 4,742 千円） ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動を支援します。

(1) 土曜日両親教室

両親向けの「2人で子育て講座」を土曜日に毎月開催（年12回）

(2) 赤ちゃんふれあい学級

区内小学校の児童を対象に、命の誕生や大切さを学ぶ講座を実施（年2校程度）

(3) 養育ネットワーク事業

0歳児とその養育者を対象に地域育児教室を実施（区内14か所 各会場年10回程度）

(4) すくすくかめっ子事業

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流（47会場）

ア 全体交流会（6月26日実施 参加者 40人）

イ 方面別交流会（8～9月 4エリア実施予定）

ウ 全体研修会（年1回）

(5) 子育て情報提供事業

子育て世帯に必要な情報を提供します。

ア 子育て応援マップ（13,000部）

イ 誤飲予防啓発うちわ（2,100部作製）



親子のたまり場「すくすくかめっ子」

① こんにちは赤ちゃん訪問事業（こども青少年局区配）

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、まちの子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を勧めています。

参考：令和5年4月～令和5年7月の実績 訪問員59人、訪問件数427件

② 地域子育て支援拠点事業（こども青少年局区配）

未就学児とその保護者および子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」（NPO法人 親がめが運営）があります。

参考：令和4年4月～令和5年7月の実績 利用者数 延べ13,204人（サテライト等含む）

2 かながわ安心子育て支援事業 2,963 千円（4年度 2,641 千円） ☆重点事業

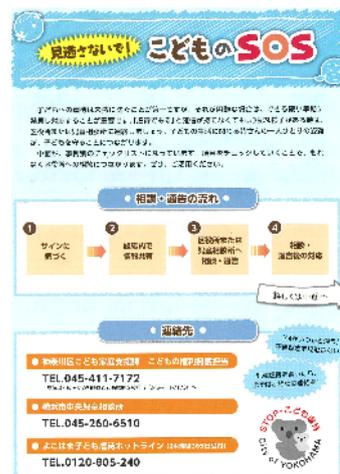
こども家庭支援課

地域全体で子育て家庭を支え、児童虐待を防止します。育児に不安を抱える養育者等に対し、アウトリーチ型の支援を強化し、個別の訪問や面接の対応を充実させ、孤立化の防止や虐待の予防につなげます。また、職員一人一人のソーシャルワークを向上させ複雑化していく事例への対応力を強化します。

(1) 児童虐待防止対策事業【拡充】

虐待リスクのある対象者への支援（訪問回数の増）

- ア 第1子を対象とした新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降への電話、家庭訪問等を実施
- イ 乳幼児健康診査の未受診者に対して電話、訪問等を丁寧に行い支援



“見逃さないで！こどものSOS”パンフレット

(2) ファミリーサポート事業

不適切養育のおそれのある児童の養育者に対し、個別カウンセリングを行うことで保護者の育児不安を解消し、児童虐待を予防（月1回、8月末時点5回実施）

(3) ひとり親家庭相談支援事業【拡充】

ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施（相談日数の増）（8月末時点24回実施）

(4) 虐待・DV対応に関わる対応力強化【拡充】

複雑で重篤な児童虐待事例やDV事例の増加に対応するため、スーパーバイザーを招き、専門職が対応に苦慮している事例の検討会や個別相談等を実施します。

- ア DV事例のスーパーバイズ（年3回）（8月末時点1回実施）
- イ 虐待事例のスーパーバイズ（年1回）（2月実施予定）
- ウ DV・虐待事例の法律相談（年6回）（8月末時点2回実施）

③ 児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局事業）

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

④ DV対策事業（こども青少年局区配）

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。

⑤ 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局区配）

養育環境に課題がある子どもを対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施します。

3 介護予防・高齢者支援事業 3,720千円（4年度 4,133千円） ☆重点事業

高齢・障害支援課

新型コロナウイルス感染症等の影響により、高齢者のフレイルが課題となっています。「神奈川区フレイル予防アクションマップ」や「体にいいこと手帳」などにより、引き続き介護予防の普及啓発を行います。また、認知症高齢者を支援する施策に取り組みます。さらに、地域ケアプラザと協働し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。

(1) 介護予防普及啓発事業

市民意識の醸成やセルフケアの促進、フレイル予防推進のための環境（地域）づくりを進めていきます。健康への関心を高め、介護予防を自分事として捉えられるよう支援します。

ア 健康行動の「継続」につながる意識づけの取組

(ア) 神奈川区フレイル予防アクションマップを配布し、フレイル予防の理解促進、フレイルの特徴（可逆性、多面性等）を踏まえた知識や取組の情報提供を行い、行動変容を促します。

(イ) 介護予防出張講座や元気づくりステーション、地域サロンなどの地域活動への参加者を増やし、さらに参加者の健康行動の「継続」を促進します。

イ 体力測定 de 健康アップ講座の開催及び体にいいこと手帳の配布

ウ 健康アップ協力隊への継続した支援

(ア) スキルアップ研修会の実施（5月29日、6月8日）

(イ) かめ亀手ぬぐいサイズ（神奈川区オリジナル介護予防体操）の普及、活用

(ウ) 神奈川区版シニア通信の発行（2月）



神奈川区フレイル予防アクションマップ

(2) 認知症高齢者支援事業

認知症になっても安心して暮らせるよう、地域の人材育成や認知症についての普及啓発を進めます。

ア 認知症への理解を促進するVR体験会の実施（10月3日予定）、広報印刷物の発行（11月）

イ 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店の普及展開

(ア) みまもり協力店の登録（随時）

(イ) みまもり協力店スキルアップの取組、キャラバン・メイト交流会（11月）

ウ 高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配布（随時）

エ キャラバン・メイト事務局会議の実施



みまもり協力店シール

(3) 地域包括ケア推進事業

横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けた取組を推進します。

ア 見守り体制強化に向けた連絡会と会議の開催

(ア) 地域ケア会議連絡会（5月23日・2月）

(イ) モデル地区包括的地域ケア会議（2回）

イ 医療と介護の連携

専門職を対象とした看取り期のVRを活用した研修会（6月7日）

⑥ 地域包括ケアシステム推進関連事業（健康福祉局・医療局事業）

・地域包括ケア推進事業（健康福祉局事業）

地域包括ケアシステム構築に向け、区レベル地域ケア会議の開催等を通じて推進します。

・在宅医療連携拠点事業（医療局事業）

医療局・区役所が、横浜市医師会・神奈川区医師会と協働し、在宅医療を担う医師への支援や、在宅介護を担うケアマネジャーなどに対する相談・支援等を行う機関として各区に1か所「在宅医療連携拠点」が設置されています。

・在宅医療推進のための人材育成（医療局事業）

ACPの概念を正しく理解し、適切に市民の方に伝えられる人材を育成するなど在宅の医療・介護が円滑に行えるよう、専門職の人材育成の研修を行います。

⑦ 地域づくり型介護予防事業（健康福祉局区配）

・元気づくりステーション事業

介護予防に地域づくりの観点を取り入れ、身近な場所で気軽に参加できるグループ活動を地域に広げるとともに、地域包括支援センターと連携・協力し、活動の支援をします。（区内24か所）

*内容：体操・ストレッチ、認知症予防トレーニング、健康麻雀など

・地域介護予防活動支援事業

地域で活動できるボランティア「健康アップ協力隊」の育成研修や交流会などを実施することで、地域に根差した介護予防活動を普及する人材の養成やネットワーク構築を目指すとともに、介護予防出張講座「体力測定 de 健康アップ講座」などを展開します。

⑧ 認知症高齢者支援関連事業（健康福祉局区配等）

・神奈川区認知症高齢者等 SOS ネットワーク

認知症のある方等を事前登録することで、行方不明になった際、区役所・地域ケアプラザ・地域包括支援センター・警察・協力機関が情報を共有し、できるだけ早くご家族の元へ戻れるよう協力する仕組みです。

・横浜市認知症高齢者等見守りシール事業（健康福祉局事業）

行方不明になった際に、できるだけ早く身元を特定して自宅に戻れるよう、「横浜市認知症高齢者等 SOS ネットワーク」登録者のうち希望者に対して衣服や持ち物等に貼れるシールを配付します。シールに記載されたQRコードを発見者が読み取ってコールセンターに電話することで、家族等へ連絡をつなぎます。

・もの忘れ検診（健康福祉局区配）

認知症の早期発見と早期対応を進めるため、市内にお住まいの50歳以上の方を対象に、もの忘れ検診（認知症の簡易検査）を無料で実施します。もの忘れ検診は市内医療機関で年度内に1回受けられます。令和5年度は通年で実施します。

4 市立保育所地域交流事業 1,686千円（4年度1,758千円）

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

(1) 食育推進事業

入所児童の保護者を対象に給食試食（200食程度）、地域の親子を対象にランチ交流（100食程度）を実施

(2) 地域交流事業

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施

(3) 保育施設等情報パンフレット配布

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成し配布
（10,000部）

(4) 保育園連携強化事業

民間保育園も含めた区内の保育園の連携を強化するため、合同園長会（年6回）等を行い、保育の質の向上を図ります。

⑨ 保育所地域子育て支援事業（こども青少年局区配）

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やします。

⑩ 保育所等を活用した保育資源ネットワークの構築（こども青少年局区配）

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

⑪ 保育所待機児童対策（こども青少年局事業）

待機児童解消に向け、保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行います。

【令和5年4月開所】

・みらいつばさ片倉町保育園（片倉二丁目） 定員12人

5 保育所・放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業

753 千円（4年度 943 千円）

こども家庭支援課

保育所・放課後キッズクラブ・放課後児童クラブのスタッフ等を対象に、様々な対応力向上を目指し、研修を実施します。

(1) 保育関連法人向け現場支援対応研修

区内保育施設の法人・施設長等を対象に、外部講師による研修を実施します。

ア 基礎編

クレームが発生した際の心構えや具体的な話し方等

イ 応用編

具体的な事例から対応のノウハウを学ぶ

(2) 放課後関連運営主体・職員等対象研修

各クラブの人材育成を図るとともに、各クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施します。

ア 集合研修

研修名	対象者	内容	実施時期
養育支援	現場職員	児童虐待等への対応	6月
クレーム対応	現場職員 運営主体	クレームとの関わり方	10月
安全管理	現場職員 運営主体	施設の安全管理や災害時の対応	11月
感染症対応	現場職員	感染症発生時の対応	12月

イ 出前研修（3テーマ、計6クラブ程度）

研修名	対象者	内容	実施時期
クレーム対応、安全管理、パソコン	現場職員 運営主体	クレームとの関わり方、施設の安全管理や災害時の対応、パソコン操作等について	9月～ 12月

《放課後児童健全育成事業クラブ数（令和5年8月末現在）》

放課後キッズクラブ 18 か所、放課後児童クラブ 16 か所

⑫ 人材育成研修委託事業（こども青少年局事業）

放課後児童健全育成事業等に従事する職員に対する研修を実施します。

6 民生委員・児童委員活動支援事業 939 千円（4 年度 944 千円）

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

(1) 訪問活動の支援

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための訪問活動用物品を購入

(2) 広報・研修

ア 広報リーフレットの配布

民生委員の役割や活動内容等を P R する広報紙を、区民まつり等で地域に配布

イ 新任委員研修

一斉改選後 1 年目の新任委員を対象に、必要な知識の習得やスキル向上のための研修を実施

7 ふれあい活動支援事業 2,014 千円（4 年度 2,014 千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活のなかで気になる人に対する訪問・見守り活動を区社協と連携して支援します。

(1) 全体研修会・全体会議

ふれあい活動員全員を対象とする研修会（12 月）

(2) ふれあい活動支援

ふれあい活動支援補助金の交付

⑬ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局事業）

市が保有する 75 歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげます。

《対象者数（令和 5 年度）》

新たに 75 歳になったひとり暮らし高齢者 1,353 人

新たな 75 歳以上の高齢者のみ（2 人以上）世帯の高齢者 1,508 人

8 かながわ健康づくり応援事業 2,263千円(4年度2,514千円)

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸を目指し、生涯を通じていきいきと暮らしていけるよう、地域関係団体等と連携し、健康づくり活動を展開します。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業(保健活動推進員、食生活等改善推進員等と協働)

ア ウォーキングイベント

(ア) 保健活動推進員、食生活等改善推進員等と協働した研修(9月)、ウォーキング関連イベント(3月)

(イ) 保健活動推進員等主催のウォーキング開催支援(随時)

イ ウォーキングマップの改訂

ウォーキングスタッフと協働し、各地区のウォーキングマップを改訂。(全6コース中、令和5年度は1コースを改訂)



ウォーキング研修

(2) 健康づくり推進事業

ア 区庁舎内健康チェック

健康相談の実施(年9回)

イ 地域における健康づくり活動の支援

歯周病予防・オーラルフレイル*予防をテーマとした歯科出前講座の開催(年7回)

※オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態

ウ 働き・子育て世代の健康づくり

両親教室の参加者に健康的な生活習慣の啓発を実施(12コース)

エ 感染症予防

区民等への感染症予防に関する啓発研修の開催(年1回)



健康チェック

(3) 食育普及事業

ア 保育園、小中学校等との連携による食育推進

栄養士、養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会(年2回)、食育展(年1回)の実施

イ 食育関連講座

(ア) 学校等との協働による出前食育講座を実施(年2回)

(イ) ヘルスマイト等との協働による食育の普及(年3回)

(ウ) 3歳児健康診査での食育ミニ講座(年24回)



食育展

⑭ 370万市民の健康づくりの推進(健康福祉局区配)

第2期健康横浜21に基づき「食生活」「運動」「喫煙・飲酒」「歯・口腔」「休養・こころ」の5つの分野の取組のほか、企業や地域等と連携した都市型の健康づくりをすすめ、オール横浜で健康寿命の延伸を目指します。

9 障害者支援事業 1,933 千円（4年度 1,933 千円）

高齢・障害支援課

障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、関係機関と連携しながら支援します。

(1) 障害者地域作業所等の活動支援

ア 花のデリバリー

フラワーアレンジメントの配達を委託（通年 48 週）

イ 障害者地域作業所等の活動支援

(ア) 障害児者地域生活ガイドのホームページ作成（12 月）【新規】

(イ) 区民まつり（10 月）、障害者週間（12 月）等での啓発

(ウ) 自主製品紹介ガイドブックの配布



自主製品紹介ガイドブック「かめあるき」



区民まつりでの啓発

(2) 障害児者の健康づくり支援

障害特性に応じた歯科口腔ケアの動画作成（12 月）【新規】

(3) 関係機関との連携支援

精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援

ア 関係機関等を対象にした支援技術向上のための研修、連絡会の開催（年 1 回）

イ 神奈川区内の障害児者支援の課題等に関する検討会の開催（障害者地域自立支援協議会各部会会議）

ウ 生活支援センター、基幹相談支援センター等関係機関とのケースカンファレンスの開催（随時）

(4) ひきこもり状態にある人への支援

ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催（11 月）

⑮ 自殺対策事業（健康福祉局支配）

自殺対策強化月間（9 月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みます。

自殺予防リーフレット配布。広報よこはま区版 9 月号、3 月号に掲載。

10 地域活動支援事業 4,593千円（4年度3,432千円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

(1) 自治会町内会長感謝会

- ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施（3月）
- イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施（3月）

(2) 自治会町内会活動支援事業

- ア 自治会町内会配送業務
各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）回覧・掲出依頼物などを配送
- イ 市有地の擁壁補修（5年度のみ実施）

(3) 自治会町内会加入促進事業

- ア 加入促進のチラシや啓発グッズを転入者セットとして配布
- イ 自治会町内会加入促進として電子申請システムを活用した支援



Ⅱ 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり 36,959 千円

(4年度 35,133 千円)

- 11 地域力アップ推進事業 重点
- 12 かながわ脱炭素化推進事業 重点
- 13 地域福祉保健活動推進・支援事業 重点
- 14 情報・魅力発信事業
- 15 わが町かながわ商店街魅力発信事業
- 16 神奈川区資産「わが町かながわとっておき」活用事業
- 17 神奈川区民まつり事業
- 18 区民活動・生涯学習支援事業
- 19 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり
- 20 花いっぱい事業
- 21 まちづくり推進事業
- 22 動物適正飼育推進事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑯ 地域の担い手応援事業（市民局区配）
- ⑰ 緑化推進事業（環境創造局区配）
- ⑱ 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）
- ⑲ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）
- ⑳ 商店街活性化イベント助成事業（経済局区配）
- ㉑ 安全・安心な商店街づくり事業（経済局事業）
- ㉒ 外国人材受入・共生推進事業（国際局区配）
- ㉓ 横浜市地域猫活動支援事業（医療局事業）
- ㉔ 猫の不妊去勢手術推進事業（医療局事業）

11 地域力アップ推進事業 2,879千円（4年度 2,454千円） ☆重点事業

区政推進課 地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めます。

(1) 地域人材マッチング事業

地域活動に興味・関心のある住民と自治会町内会活動等とのマッチングを希望する自治会町内会を支援します。具体的には、地域活動の担い手の掘り起こしを目的とした、自治会町内会が実施するアンケートの検討・作成の支援及び、地域活動に関心を示した住民が、自治会町内会とつながりを持つための交流会等の実施を支援します。(三ツ沢連自治町内会)

(2) 地域づくり大学校支援事業

地域づくり大学校の受講生・卒業生を対象に、新たな取組への補助や様々な人や団体とのつながりづくり等を支援します。

ア かながわ地域支援補助金事業（地域づくり大学校卒業生支援コース）(4団体)

イ 他地域活動団体を交えた交流会の開催(8月、12月)



地域づくり大学校交流会の様子

(3) 地域情報の発信

区内で行われている特色ある地域活動の事例を広く区民に紹介する「地域のわ通信」を区ホームページやSNSで発信します。

また、広報よこはま区版で区内の地域活動情報を連載します。



「地域のわ通信」の発行

(4) 区民協議会支援事業

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動に対して支援を行います。

ア 機関紙「こぶし」発行

イ 区民のつどいの開催(7月1日) 168人参加

⑯ 地域の担い手応援事業（市民局区配）

区民と区役所がお互いの利点を生かして、協働による地域課題の解決に取り組むとともに、地域の協働への理解と協力を進めるため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施します。

12 かながわ脱炭素化推進事業 1,903 千円（4年度1,759 千円）

☆重点事業

区政推進課

区民・事業者との協働により、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標の達成に向けて、温暖化対策に取り組みます。また、「横浜市環境管理計画」に基づき、環境課題に対応する取組を進めます。

(1) エコ活啓発事業

- ア ECOパートナー協定に基づく横浜FCとの協働事業の実施
(かながわ区民DAY及びECOパートナーDAY出展)
- イ 小学生向け出前教室の開催（1～3校）
- ウ 神奈川大学との連携講座の実施（7月30日、8月5日）【新規】

(2) 緑化推進事業

- ア 区内公共施設、私立保育所等での花と緑のカーテンの普及啓発（32施設）
- イ 区役所での花と緑のカーテン設置（5月～10月）
- ウ 区民向け花と緑のカーテンの普及啓発
(花と緑のカーテン用種の配布 200人)



緑のカーテン育成の様子
(子安小学校)

(3) 地産地消推進事業

- 区内産野菜等の出張販売の実施（年3回）
 - ・直売所マップやレシピ集などを活用した地産地消の情報発信
 - ・野菜の他、花きなど区内産農産物のPR

⑰ 緑化推進事業（環境創造局区配）

地球温暖化対策の一環として、区内の子どもを育む施設での緑化の推進に取り組みます。
(小学校・保育所に花と緑のカーテンを設置)
また、チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配付します。

⑱ 身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局区配）

区内で行われている農業と地産地消の魅力を発信するための啓発物等を作成します。

⑲ 花苗生産配布事業（環境創造局事業）

市内産のシクラメンを区庁舎に置き、区内で花きが生産されていることをPRします。

13 地域福祉保健活動推進・支援事業

4,373千円（4年度4,891千円）

☆重点事業

福祉保健課

「かながわ支え愛プラン（第4期 神奈川区地域福祉保健計画）」を推進するため、計画の周知を重点的に行うとともに、活動の情報共有や毎年の振り返りなど、地域の実情に合わせた支援方法を関係機関と協働して検討していきます。

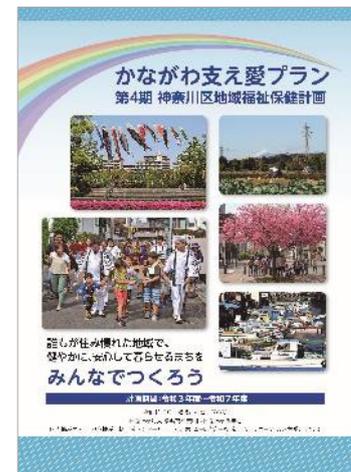
(1) 区計画の推進

ア 区計画の周知

- (ア) 地域情報誌、特設のホームページでの広報
新たに活動風景やインタビューの動画を掲載
- (イ) 区計画の概要版の更新・発行

イ 区計画の推進

- (ア) 区計画の推進・進捗確認のために意見交換をする場となる「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催（年3回）
- (イ) 計画策定アドバイザーを活用した推進方法の検討



かながわ支え愛プラン
(第4期地域福祉保健計画)

(2) 地区別計画の推進

- ア 各地区（21地区）の特徴を把握するためのデータ分析
- イ 地域活動を推進するための会議や研修会等へのアドバイザー派遣【新規】
- ウ 地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による地区支援
- エ 各地区において、取組の達成度合いや課題を共有し、今後の進め方について話し合う地区別計画推進会議などの開催を支援（地区ごとに年2～3回）
- オ 地区別計画情報交換会の開催（10月）
- カ 各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月）

14 情報・魅力発信事業 4,414千円（4年度4,594千円）

区政推進課

様々な区の実践や区政情報を効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、区の魅力を創出・発信します。

(1) 各種媒体の特性を活かした情報発信

ホームページ、ツイッター等、媒体の特性を活かした情報発信
職員の広報マインド・広報スキルアップ研修（年2回：5月、9月）
第1回：5月25日（木）23人参加

(2) 区のマスコットキャラクター・区の花の活用

長年神奈川区のシンボルとして愛されてきたマスコットキャラクターや区の花を、広報やその他の場面で活用し、親しみやすさにつなげます。

ア 「かめ太郎」の着ぐるみ貸出・イラスト(素材)の提供
イ 区の花いっぱい事業

令和5年度チューリップ写生画展
(神奈川図書館)

(ア) 区の花「チューリップ」写生画展（8月）

○神奈川図書館 8月8日（火）～15日（火）

○神大寺地区センター 8月17日（木）～25日（金）

(イ) 区内小学校に区の花「チューリップ」の球根を配付（11月）

(3) 歴史活用事業

ア 旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施（12月）
イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報
ウ 歴史の道ガイドパネル等の更新

(4) 区民生活マップの発行

転入者等に神奈川区内の施設等の位置や連絡先などを紹介するマップを作成・配布
(日本語版 12,000部)



15 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,809 千円(4年度 2,010 千円)

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図ります。

(1) 商店街麺ラリー事業

神奈川区内のお店からエントリーされた麺を扱った商品を紹介するとともに、店舗を巡るスタンプラリーを開催することで、区民が商店街への関心を抱き来街するきっかけを作ります。(11月～1月)



ペーカリーラリー冊子
(令和4年度商店街ラリー)

⑩ 商店街活性化イベント助成事業(経済局区配)

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

⑪ 安全・安心な商店街づくり事業(経済局事業)

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図ります。



16 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

1,920 千円（4年度 2,133 千円）

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みます。

(1) 神奈川区資産の活用

ア 「わが町 かながわ とっておき」を活用したイベントの開催支援等

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々と組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援します。

(ア) 専用ホームページを活用し、「散歩ガイド」やイベント情報等、神奈川区の魅力を発信

(イ) 小中学生を対象として神奈川区内の魅力スポットを紹介する「おすすめスポットコンテンツ」を実施

(2) 「わが町 かながわ とっておき」写真コンテスト

ア 写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

写真コンテスト「海と緑と丘のまち神奈川区」の魅力を表現する写真を小中学生、一般より募集し、入賞作品を用いた魅力発信を行います。（8月～3月）

イ 看板の維持管理

「わが町 かながわ 50 選」案内看板の現況確認を実施し、必要に応じて補修を行い、適切に維持管理します。

17 神奈川区民まつり事業 4,000 千円（4年度 4,000 千円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって企画・運営する神奈川区民まつりの開催を支援します。

また、令和4年度の開催実績を踏まえ、安全安心に配慮した開催とするため、環境問題への配慮（会場内でのごみの分別徹底やカーボンオフセット等）等に取り組みます。

(1) 実行委員会や各運営部会との連絡調整

(2) 会場等の利用支援

(3) 開催日：令和5年10月8日（日）午前 10 時から午後 3 時 30 分まで

(4) 開催内容：各種団体によるブース出店（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）、ステージプログラム等

文化・スポーツ・青少年育成等の区民活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指します。区民活動支援センターは区域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。

(1) 生涯学級事業

地域課題に関心を持って自主的に学び取り組むきっかけをつくとともに、地域活動の中核となる区民を増やすことを目指し、「生涯学級運営委員会」の活動を支援します。

ア 生涯学級運営委員会が企画運営する区民向け連続講座（2学級）

イ 生涯学級運営委員対象のスキルアップ講座・交流会（年2回）

ウ 神奈川大学との連携講座（かながわ脱炭素推進事業）の受講者を対象とした生涯学級デビュー講座（9月頃予定）【新規】



令和4年度生涯学級連続講座
「日本語ボランティアはじめの一歩」

(2) 区民活動支援センター事業

地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区民による活動や生涯学習を支援します。また、区域の中間支援組織として地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。

ア 相談・支援等

(ア) 地域での活動に関心のある人、地域で活動している個人・団体等からの相談への対応

(イ) 助っ人バンク（人材バンク）等を活用した地域の様々な主体をつなぐコーディネートやネットワークづくり

(ウ) 活動発表の機会となる「みんなの文化祭」の開催（5月、7月、9月、3月予定）

イ 情報発信

(ア) 区民活動支援センター周知用チラシ等の制作（5,000部発行）

(イ) ホームページやSNS、広報よこはま区版を活用した情報発信

ウ 人材の発掘・育成・活用

(ア) 区内区民利用施設と連携して「地域デビュー講座」を開催（4講座予定）

(イ) 団体活動の充実やスキルアップ等を目的に、助っ人バンク登録者を講師とした講座を開催（年2回）

(ウ) 登録団体等対象の交流会（8月、2月予定）

エ 地域施設間連携

(ア) 地域の課題や魅力・情報の共有などを行うため施設間連携会議の開催（7月、1月予定）

(イ) 地域エリア別会議の開催、エリア内地域住民向け情報紙発行など

オ かながわ湊フェスタ支援（11月5日予定）

複数の活動団体からなる実行委員会が企画・運営する「かながわ湊フェスタ2023」の開催を支援します。多くの活動団体が参加することで、団体同士の連携、新たな地域人材の発掘につなげるほか、神奈川区の人やまちなど多面的な魅力を発信します。

(3) 文化活動支援事業

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援します。また、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実させます。

ア 文化協会支援

- (ア) 区伝統芸能祭
民謡民舞のつどい、邦楽のつどい、舞踊のつどい（10月）
- (イ) 区民音楽祭
コーラス交歓会、アンサンブルコンサート、中学校生徒音楽会（協会共催）（8月～11月）
- (ウ) 区文化展
洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道、茶道の発表会（2月～3月）
- (エ) 春のコンサート（3月）
- (オ) ちいさな美術館（7月～12月）

イ 読書活動推進

- (ア) 読書に親しむきっかけとなる講演会等の開催（11月頃）
- (イ) 読書活動関係機関連絡会（年2回）

(4) スポーツ振興事業

種目別団体による自主的な活動を通じて、区民が生涯を通じてスポーツ活動を楽しみながら健康増進・体力づくりができるよう、区スポーツ協会を支援します。また、トップスポーツチームと連携した事業を実施します。

ア 区スポーツ協会支援

野球、陸上、ソフトテニス、スキー、剣道、卓球、バレーボール、バドミントン、テニス、バスケットボール、**学童**野球、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ダンススポーツ、綱引き

イ トップスポーツチームとの連携

神奈川区にゆかりのあるトップスポーツチームと連携しスポーツ教室等を実施（年1回）

(5) 青少年育成事業

子どもや青少年がいきいきと活動し活躍できる機会をつくるため、子ども会育成連絡協議会が行う事業や研修、青少年の自主的な活動を発表するイベント「B-SKY FES」の開催を支援します。

ア 子ども会育成連絡協議会支援

青少年向け事業や青少年育成者研修事業への支援

イ B-SKY FES 支援

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント「B-SKY FES」の開催支援（9月）

㉔ 外国人材受入・共生推進事業（国際局区配）

外国人住民や外国人住民を支援する地域活動団体等が抱える課題の解決に向け、神奈川区多文化共生ラウンジを開設します。

19 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 1,210 千円（4年度 1,110 千円）

地域振興課

「ヨコハマ 3 R 夢プラン」、特に 3 R のリデュース（発生抑制）を推進するため、食品ロスの削減、プラごみ削減等の普及・啓発を実施します。また、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援により、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指します。

(1) 地域美化活動支援事業

- ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援（地域・公園・駅等）
- イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」（地域、学校、事業者等と協働で実施）（9月 27 日（予備日 28 日））
- ウ 区民要望の多い大口駅周辺、白楽駅周辺地区における清掃委託【拡充】
- エ 喫煙禁止地区における地域と連携した啓発（年 6 回）
- オ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発



わが町かながわマナー違反一掃作戦

(2) 不法投棄防止対策事業

- ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4 か所）
- イ 地域と連携した不法投棄への対応

(3) ヨコハマ 3 R 夢啓発事業

- ア 地域まつり等での啓発
- イ 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発
- ウ 保育園や小学校等での出前授業
- エ 広報よこはま区版・地域回覧を活用した啓発
- オ ヨコハマ 3 R 夢推進功労者の表彰（6月 16 日）
- カ フードドライブの推進
- キ リユース文庫コーナーの管理運営

20 花いっぱい事業 1,395 千円（4年度 1,550 千円）

土木事務所

道路・公園・緑道などで公園愛護会等各ボランティア団体との協働により花壇づくりを推進し、花を通じた明るい街の環境を作ります。

(1) GREEN×EXP02027（国際園芸博覧会）に向けた機運醸成

公園愛護会の花壇づくり等の活動を通じて、GREEN×EXP02027 に向けた機運醸成を行います。

ア 球根・花苗の配布、花壇の設置

(ア) 区の花（チューリップ）の球根や花苗を配布し植栽を実施します。

（5月、10月配布予定）

(イ) 公園愛護会等ボランティア団体と協力し、公園、緑道などに花壇を設置します。

イ 花苗の育成

公園愛護会等と協力して、花壇に植栽する花苗の育成を行います。



チューリップの植栽



花壇の設置

(2) ボランティア団体の交流の促進

土木事務所が支援する各ボランティア団体の交流を促進します。

21 まちづくり推進事業 7,088 千円（4年度 6,045 千円）

区政推進課

各地域の特性や課題、ニーズを把握し、魅力あるまちづくりを進め、「住みたい」「住み続けたい」まちを実現します。

(1) 企画調整・まちづくり事業【拡充】

区民の生活意識や区政に対する要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的に、区民意識調査を実施しました。また、令和4年度に実施した丘陵部における行動実態調査結果を参考とし、新たな地域での移動支援の実施に向けた検討を行います。

(2) 歩行者ネットワーク強化事業

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行います。

22 動物適正飼育推進事業 186 千円（4 年度 276 千円）

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行います。

(1) 犬の適正飼育啓発事業

- ア 飼い主の知識及びマナー向上のため、犬の適正飼育方法の啓発チラシやマナープレート、トイレパックを狂犬病予防注射出張会場や窓口等で配布
啓発チラシ：2,000 枚、マナープレート：200 枚、啓発用トイレパック：1,200 パック
- イ 広報よこはま区版での啓発(広報よこはま 3 月号に掲載予定)

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ア 不妊去勢手術実施の支援等
飼い主のいない猫を起因とするトラブルが起きている地域で、自主解決を図ろうとする町内会等に対し、不妊去勢手術の推進・地域猫活動に関するチラシの配布やセミナーの開催及び神奈川区猫ボランティアの派遣等
- イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器を貸出
- ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- エ 飼育管理が不適切な猫の飼い主への対応
飼い主のいない猫の増加の原因になっているため、屋内飼育や不妊去勢手術実施を指導
- オ 広報よこはま区版での啓発(広報よこはま 2 月号に掲載予定)

⑳ 横浜市地域猫活動支援事業（医療局事業）

飼い主のいない猫（ノラ猫）等による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサや糞尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。
登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援をします。

㉑ 猫の不妊去勢手術推進事業（医療局事業）

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成します。

Ⅲ 安全・安心なまちづくり 32,908千円（4年度33,466千円）

- 23 地域防災力向上事業 重点
- 24 神奈川区防犯対策事業
- 25 交通安全対策事業

自主企画事業費以外で実施する主な事業

- ⑫⑤ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）
- ⑫⑥ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）
- ⑫⑦ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）
- ⑫⑧ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）
- ⑫⑨ 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）
- ⑫⑩ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）
- ⑫⑪ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）
- ⑫⑫ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）
- ⑫⑬ 道路維持修繕事業（道路局区配）
- ⑫⑭ 道路改良事業（道路局区配）
- ⑫⑮ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）
- ⑫⑯ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

23 地域防災力向上事業

23,923 千円（4年度 23,428 千円）

☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進します。また、関東大震災から100年の節目を契機に区民の防災への関心を高めるため、SNS等を活用し区民に対する啓発を進めます。地域、医療機関、民間事業者等と連携して地域防災力の向上を図ります。

(1) 地域防災力の強化

ア 自助の推進

(ア) 窓ガラス飛散防止普及啓発事業

大地震、風水害時に窓ガラスの破損による負傷を防ぎ、自宅で避難生活を送ることができるよう、日本ガラスフィルム工事業協会と連携し、ガラスの飛散防止フィルム設置を促進（申請：2件）

(イ) 乳幼児子育て世代向け家具転倒防止普及啓発事業 出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布（ドアロックストッパー2,000個作成、配布）

(ロ) 防災アドバイザーによる相談会（6回実施）

(ハ) SNS等を活用した防災情報の発信

(ニ) 「自分でつくるmy防災マップ」配布等

イ 共助の推進

(ア) 「共助の取組」支援セミナー（7月22日、26日） 自治会・町内会等の防災担当者を対象に、防災の専門家を招いたセミナーを実施

(イ) 地域防災拠点の機能強化

運営委員向け防災講座及び運営マニュアルの改訂支援、地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）、地域防災拠点だよりの発行

(ロ) 共助推進事業（申請：5団体）

町の防災組織が実施する防災活動や防災資機材購入にかかる費用を補助

ウ 次世代への防災教育

中学生向け防災ガイドを活用した区内公立、私立中学校の防災教育の支援

エ 子育て世代の防災意識向上

区PTA連絡協議会と協力し、子育て世代向け防災ガイドを作成・配布（2月）

オ 新子安・子安通1丁目・入江地区及び神奈川区臨海部防災協議会（10月）



ドアロックストッパー



防災情報を Twitter にて発信



地域防災拠点運営マニュアル改訂支援

(2) 区役所災害対応力の強化

ア 職員向け訓練・研修

- (ア) 転入職員向け研修、即応班研修（4月13日、19日、20日）
- (イ) 風水害避難場所運営訓練（6月27日）
- (ウ) 地域防災拠点参加等研修（6月9日）
- (エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8月14日）
- (オ) 庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9月）
- (カ) 区本部各班訓練

イ 区本部運営に必要な物資の整備

(3) 医療初動体制の整備

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

神奈川区災害医療連絡会議（10月、12月）

イ 災害医療の訓練や区民啓発

- (ア) 区災害医療訓練（11月）
- (イ) 医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練（8月、10月、12月、2月）
- (ウ) 地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発
- (エ) 災害医療のぼり旗掲出訓練（11月）
- (オ) 他区との通信訓練（鶴見区と合同開催）（年1回）
- (カ) 広報よこはま区版でYナース募集（10月）



区災害医療訓練

(4) 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図ります。また、助成金の交付等により、地域における災害時要援護者支援の取組を支援します。

ア 新規協定締結の促進 《令和5年8月末現在 名簿提供団体：109団体》

- (ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（随時）
- (イ) 災害時要援護者名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（8月）

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付（随時）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成

(5) 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザなど）の運営体制の強化を図るべく、避難所協定締結施設を対象とした連絡会・研修会等を行います。

《令和5年8月末現在 福祉避難所 協定締結数：21施設》

- ア 福祉避難所協定締結施設向け連絡会（6月29日、2月予定）
- イ 福祉避難所協定締結施設向け研修会（12月）
- ウ 福祉避難所情報共有システムを活用した開設情報等受伝達訓練（6月15日、2月予定）
- エ 福祉避難所の備蓄品等の整備（エアベッド他必要な備蓄品を12月までに配付予定）
- オ HUGカードの作成と訓練の実施（3月）【新規】

(6) 災害時のペット対策

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

- (ア) 地域防災拠点運営委員会総会（5月25日開催）にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
- (イ) 「災害時のペット対策～ペットとの同行避難対応ガイドライン～」を基に、地域防災拠点運営委員会等における災害時ペット対策の推進を支援
- (ウ) 具体的な対策の検討を進めている拠点数か所に対し、その地域のペットの飼い主の意識調査を行い、実際に飼育管理を行うことになる飼い主の考えを参考にするとともに、必要に応じ専門家のアドバイスを得ながら各拠点での一時飼育場所運営に係るルールづくり等を支援
- (エ) 防災拠点訓練時に、ペット同行避難訓練やパネル展示の実施
- (オ) 専門家等による講演会の実施

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

- (ア) 広報よこはま区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備等について周知（広報よこはま9月号に掲載予定）
- (イ) 地域防災拠点や区民まつり等にて、災害時ペット対策のパネル展示を実施（6月26日から6月30日の期間で別館1階区役所入口にパネル展示実施）
- (ウ) 日ごろからの備えとして、「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」及び「神奈川区動物病院マップ」を区役所窓口等で配布



地域防災拠点でのパネル展示及びペット同行避難訓練

24 神奈川区防犯対策事業 4,168千円(4年度5,078千円)

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等関係機関と連携を密に図りながら、犯罪発生状況に応じた情報の提供及び啓発活動などの防犯対策を推進します。

(1) 住みよいまちづくり活動助成(21地区連合町内会が行う防犯活動・青少年の健全育成・3R夢推進活動支援)

地域による安全で安心なまちづくり活動を推進するため、活動助成金を交付(8月交付決定通知)

(2) 防犯活動啓発事業

ア 特殊詐欺等防犯啓発情報のメール配信(8件配信)

イ 広報よこはま区版等による防犯啓発

(5・6月:特殊詐欺、7月:夏休み子ども防犯啓発)

ウ 地域での防犯活動に必要な物品(帽子・ベスト・のぼり旗等)の貸与

エ 防犯キャンペーン(10月)

オ 防犯啓発チラシ配布

自治会町内会への配布(4月)

地区センター等公共施設への配架(5月、6月)

カ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発



特殊詐欺啓発のぼり旗



防犯パトロールベスト



防犯パトロール用帽子

25 交通安全対策事業 4,817千円（4年度4,960千円）

地域振興課・土木事務所

地域、警察、関係団体等と連携し、交通事故発生件数の減少に向けた啓発を行います。また、路側帯のカラー化などの児童通学路の安全確保に必要な対策を、道路管理者である土木事務所と連携して行います。

区内駅周辺での放置自転車等の減少に向け、区内駅周辺の自転車等放置禁止区域内での地域による啓発活動のほか、委託監視員による啓発を行います。

(1) 自転車マナーアップ事業

自転車利用のマナーアップ啓発

(2) 自転車等放置防止推進協議会への助成

各禁止区域の協議会に対する活動費助成（交付決定 5月）

(3) 交通安全啓発事業

ア 交通安全啓発

小学校 19校実施（4月～6月参加者 3,484人）

中学校 1校（11月）や自治会町内会（親子三代自転車教室）を対象に実施

イ 交通安全チラシおよび啓発物品の配布

ウ 広報よこはま区版を活用した啓発

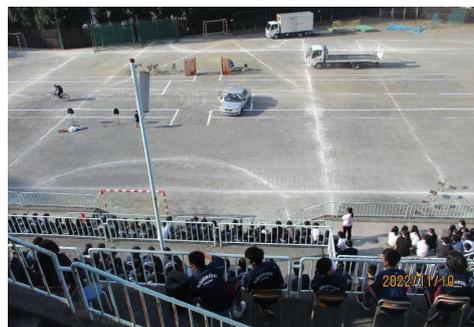
（4月、5月、7月、12月）



入江地区親子三代自転車教室(6月24日実施)



警察と連携した交通安全啓発キャンペーン



令和4年度 交通安全教室(中学校)

(4) 神奈川区交通安全対策協議会（事務局）

ア 神奈川区交通安全対策協議会開催（5月17日開催）

イ 交通安全功労者表彰（5月17日開催）

(5) 児童通学路整備事業

ア スクールゾーン対策協議会活動の支援

スクールゾーン対策協議会（7月～9月）

イ 通学路内の路面標示の補修



通学路 路面標示の補修

(6) 交通安全対策工事

路面標示・標識の設置、補修等

神奈川区内まちづくり関連予算

②⑤ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業（都市整備局事業）

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備します。

令和5年度末のしゅん工を目指し、引き続き建築工事を進めます。

②⑥ 東高島駅北地区開発事業（都市整備局事業）

東高島駅北地区において、地元と協力しながら、医療、健康、居住など、新しい都心にふさわしいまちづくりを進めます。

令和4年度に、基盤整備や埋立工事を実施し、地区内の建築工事が始まりました。

令和5年度は、引き続き基盤整備や埋立工事を進めるとともに、一部建築工事が完了しました。

②⑦ まちの不燃化推進事業（都市整備局事業）

地震火災における被害の軽減に向け、延焼の危険性が特に高い「重点対策地域（不燃化推進地域）」において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部を補助する「建築物不燃化推進事業補助」などを行っています。また、浦島町地区、六角橋商店街地区及び白幡上町地区等における協働による防災まちづくりを今後も継続して進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進していきます。

②⑧ 管理不全な空家の防止・解消対策の推進（建築局事業）

平成31年2月に「第2期横浜市空家等対策計画」を策定し、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不全な空家の防止・解消、④空家の跡地活用、の4つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和3年度は、「横浜市空家等に係る適切な管理、措置等に関する条例」の施行（8月1日）に伴い、更なる管理不全な空家の解消に向け、区局が連携し取組を強化しました。

令和4年度は、所有者調査委託等の従前の取組に加え、区が行う管理不全な空家等の初期対応の委託をモデル実施しました。

令和5年度は、初期対応の委託を全市展開し本格実施することで、より効率的かつ有効な管理不全な空家等の解消の取組を進めています。

②⑨ 横浜市内広域シェアサイクル事業社会実験（道路局事業）

横浜市自転車活用推進計画の「いかす」施策に基づき、公共交通の機能補完等を目的とした横浜市内広域でのシェアサイクル事業の社会実験（令和4年6月10日～令和7年3月31日）を民間事業者と協働で実施しています。神奈川区は先行的に事業を展開する重点展開区として位置づけられています。

③⑩ 菅田の丘小学校及び二谷小学校の建替え（教育委員会事務局事業）

菅田の丘小学校は令和3年4月に、旧池上小学校と旧菅田小学校の統合校として開校しています。菅田の丘小学校の新校舎は旧池上小学校の敷地に令和4～5年度に整備を行い、令和6年度以降、新校舎に移転する計画としています。なお、校地整備については、令和6年度を予定しています。

二谷小学校については、最も古い校舎が目標耐用年数の築70年に迫っているため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、建替えを検討しています。検討にあたっては、近隣の斎藤分小学校が小規模校であるため、学校統合の検討を学校規模適正化等検討部会において進めています。

③⑪ 下水道管きょ耐震化事業／下水道再整備事業（環境創造局事業）

災害時救急病院等の医療拠点等に通じる下水道管きょの耐震化を進めています。令和5年度は、横浜はじめ病院、古川病院、紫雲会横浜病院などの下水道管きょ耐震化を予定しています。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、全市域を対象とした調査結果等に基づき、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じて計画的に、下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。令和5年度は三ツ沢東町、松ヶ丘、**平川町周辺**などで工事を予定しています。

③⑫ 公園再整備・施設改良事業（環境創造局区配）

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和5年度は羽沢長谷第三公園で実施を予定しています。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。令和5年度は**幸ヶ谷公園**、**反町公園**などで実施を予定しています。

③⑬ 道路維持修繕事業（道路局区配）

六角橋六丁目（主要地方道鶴見駅三ツ沢線）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、交通の円滑化と騒音振動の解消を図ります。

③⑭ 道路改良事業（道路局区配）

片倉六角橋線（神大寺地区）の未買収地について、関係地権者と用地交渉を進め、早期取得、早期完成を目指します。

③⑮ 大口駅・子安駅周辺地区のバリアフリー整備事業（道路局区配）

道路特定事業計画に基づき整備を進めています。引き続きバリアフリー化に向けた整備を行います。

③⑯ 池上小学校・菅田小学校の学校統合に伴う道路整備事業（教育委員会・道路局区配）

学校統合に伴う通学安全対策として、交差点等の道路拡幅及び歩道設置を進め、令和5年度中の完成を目指します。

IV 信頼される区役所づくり 11,704千円（4年度10,994千円）

26 チーム神奈川おもてなし向上事業

26 チーム神奈川おもてなし向上事業 11,704千円（4年度10,994千円） 総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策により、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指します。また、来庁者が利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺的环境整備を進めます。

(1) 人材育成等推進事業

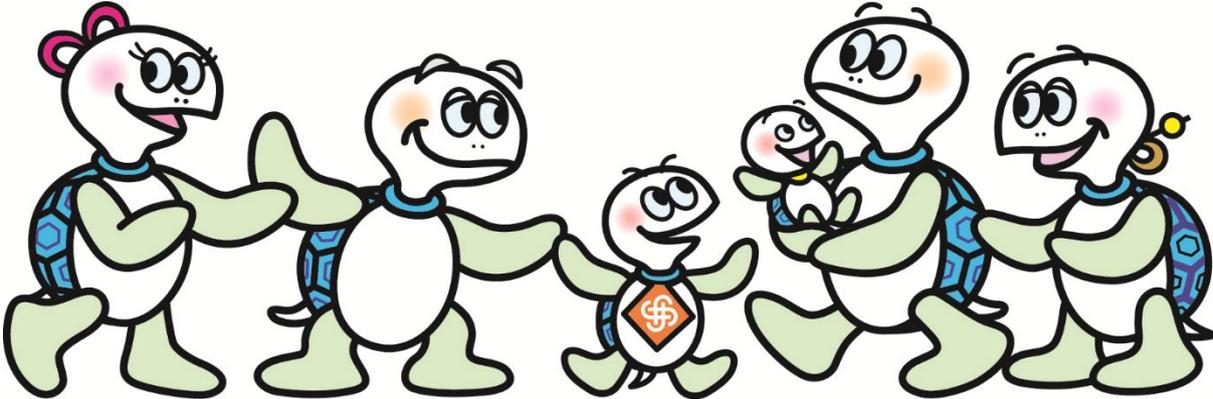
- ア 新採用・転入者研修（4月）
- イ 職員向けスキルアップ研修

(2) 人権啓発事業

- ア 区職員向け研修
 - (ア) 責任職研修（全体：2回（7月4日、7月11日）、グループ：各2回（8月～1月））
 - (イ) 職員対象研修（年7回程度 10月～1月）
- イ 区民向け・関係団体向け講演会（年1回）

(3) 来庁者の利便性向上

- ア 庁舎周辺の清掃や、窓口及び待合スペース等の環境改善
- イ 窓口混雑状況や呼出番号をWeb上で確認できるシステムの保守・運用
- ウ 区の様々な情報をまとめた転入者セットの配付



令和6年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方（案）

1 基本目標

「笑顔でつながる『神奈川区』」

～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～

【目標達成に向けた3つの施策】

- 1 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり
- 2 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり
- 3 安全・安心なまちづくり

2 令和6年度予算編成にあたって

神奈川区では、横浜市中期計画に掲げる基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現に向けて、誰もが共に支えあえるまちづくりを目指します。

生活スタイルや地域活動は大きな転換期を迎えています。窓口対応や地域との関わりなど、あらゆる機会を通じて時代の変化を柔軟かつ的確に捉え、区内の多様な地域特性に応じたニーズを把握します。

- 神奈川区では、20～30代の転入により、人口が増えています。子育て支援とともに、若い世代をはじめとする誰もが地域に迎えられ、つながりあえる関係づくりが求められています。
- 高齢化や地域におけるつながりの希薄化により担い手不足が顕在化してきています。これらの課題に対応するための地域活性化の取組が求められています。
- 深刻化する気候変動の影響に対応するため、脱炭素社会の実現に向けて、一層の取組が求められています。

限られた財源の中で、これらのニーズや課題に対応するため、客観的なデータ・根拠に基づき、既存事業を含めて効果・効率性を徹底して検証します。その上で、デジタル技術の活用や様々な主体との連携などの視点を持って事業手法を見直し、区役所一丸となって令和6年度予算編成を行います。